

令和5年度

長泉町住民意識調査報告書



長泉町

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
▼ あなたのことについて	2
I あなたの定住意識について	7
II あなたが持っている「長泉町の印象」について	12
III 今後のより良いまちづくりを進めていくための 「第5次総合計画の指標に関する項目」などについて	20
3. 自由意見のまとめ	53
4. 調査結果のまとめと分析	54
5. 調査票	56

1. 調査概要

調査目的

日常生活における町民の皆様の意識と行政に対する要望や評価を把握し、今後の町政運営に反映させていくために実施しました。

調査項目

- ▼ 回答者のことについて
 - I あなたの定住意識について
 - II あなたが持っている「長泉町の印象」について
 - III 今後のより良いまちづくりを進めていくための「第5次総合計画の指標に関する項目」などについて

調査設計

- ・ 調査対象：長泉町在住の18歳以上の方
- ・ 抽出方法：無作為抽出
- ・ 対象者数：1,000人
- ・ 調査方法：対象者に調査票を郵送配付。
対象者は当該調査票に回答を記入の上郵送で返送、またはインターネット上の専用ウェブサイトにおいて回答を入力
- ・ 調査期間：令和5年8月30日（水）～令和5年9月15日（金）

調査結果

- ・ 発送数：1,000通
- ・ 有効回収数：568通
- ・ 有効回収率：56.8%

報告書を見る際の注意事項

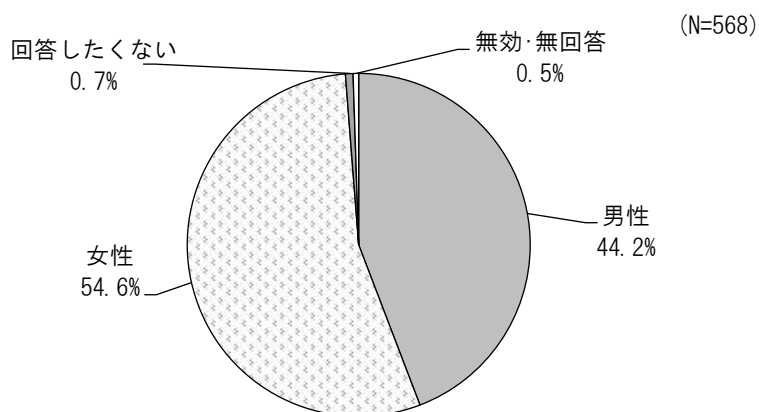
- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を奇数とした百分率（%）で示しています。
- ・ 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（1つの質問に2つ以上答えられる）が可能な質問では、回答割合の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 質問や選択肢の文が長くなる場合、グラフやコメントにおいては一部省略した表記を用いていることがあります。

2. 調査結果

▼ あなたのことについて

性別

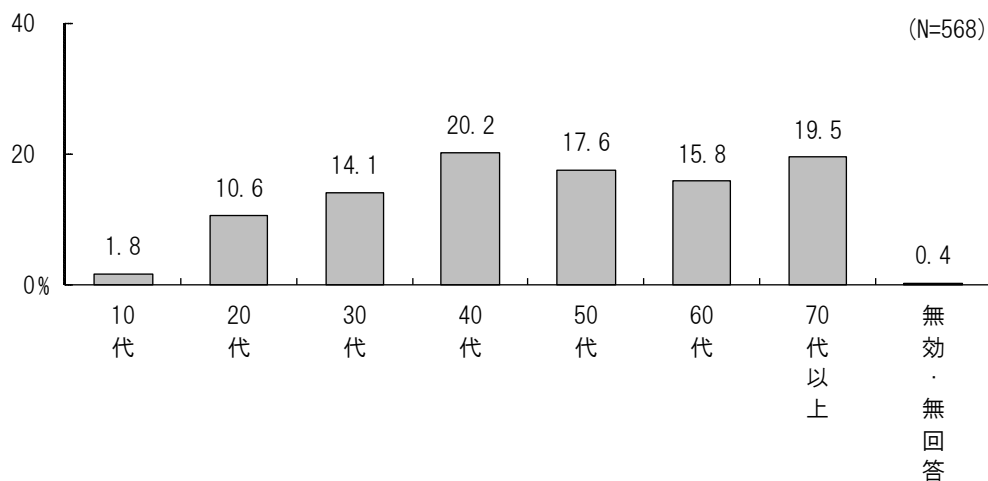
ア あなたの性別を教えてください。(該当する番号に1つ○をつけてください)



性別については、「男性」が44.2%、「女性」が54.6%、「回答したくない」が0.7%となっています。

年齢（令和5年8月1日現在）

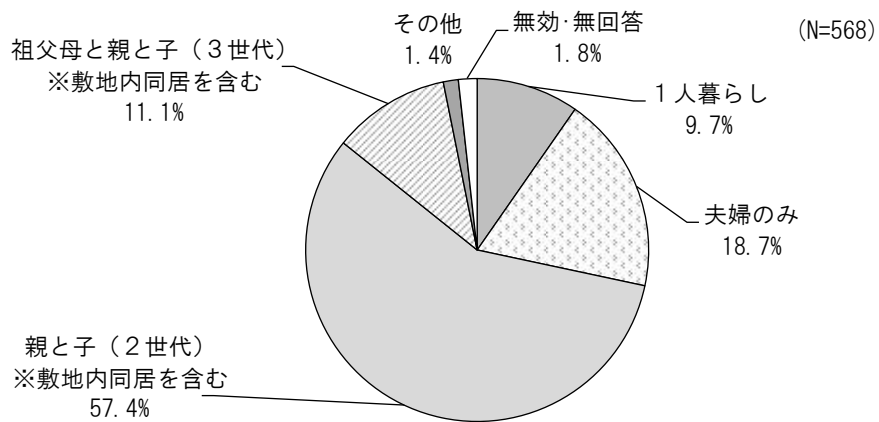
イ あなたの年齢を教えてください。【8月1日現在】(該当する番号に1つ○をつけてください)



年齢（令和5年8月1日現在）については、「40代」が20.2%で最も多く、次いで「70代以上」が19.5%、50代が17.6%などとなっています。

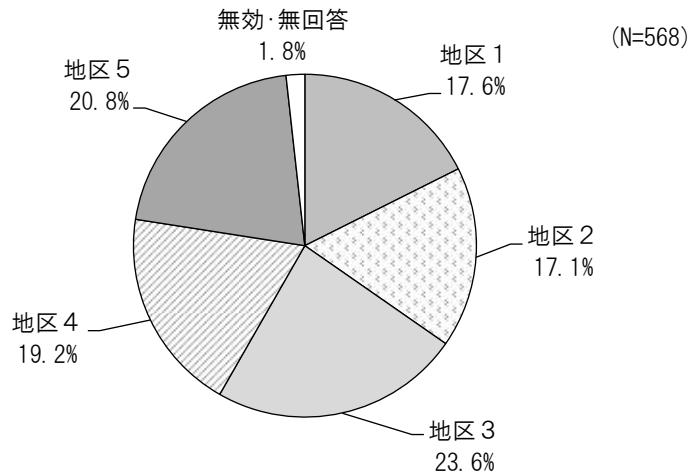
世帯状況

ウ あなたの世帯状況を教えてください。(該当する番号に1つ○をつけてください)



世帯状況については、「親と子 (2世代) ※敷地内同居を含む」が 57.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が 18.7%、「祖父母と親と子 (3世代)」が 11.1%、「1人暮らし」が 9.7%などとなっています。

エ お住まいの地域を教えてください。(お住まいの地区に1つ○をつけてください)

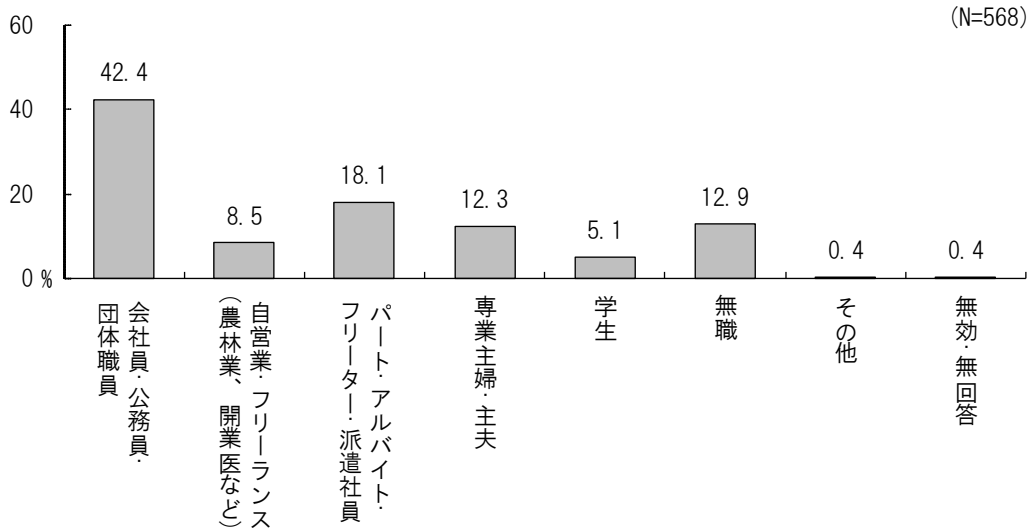


地区1	元長窪、上長窪、屋代住宅、下長窪、池田、尾尻住宅、谷津
地区2	南一色、東ベ南一色、納米里、駿河平、八分平
地区3	上土狩、惣ヶ原、エンゼル、シャリエ中土狩、中土狩、東
地区4	荻素、新屋町上、新屋町中、新屋町下、鮎壺、駅上、駅中、駅下、薄原上、薄原下、西、原、シャルマン、シャリエ南、シャリエ東
地区5	三軒家、エンゼル西、グランツ、杉原、原分、高田、竹原、シャルマン竹原、本宿

自治会については、「地区3」が23.6%で最も多く、次いで「地区5」が20.8%、「地区4」が19.2%などとなっています。

職業

オ あなたの職業を教えてください。(複数該当する場合は、主な番号に1つ○をつけてください)

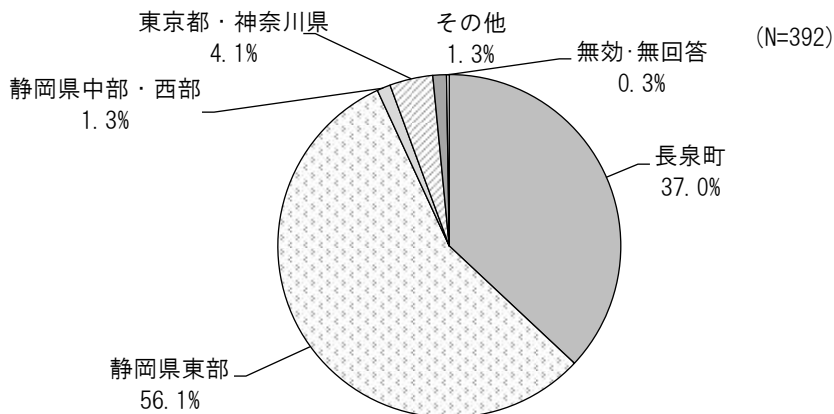


職業については、「会社員・公務員・団体職員」が 42.4%で最も多く、次いで「パート・アルバイト・フリーター・派遣社員」が 18.1%、「無職」が 12.9%などとなっています。

勤務地

※現在働いている方にお伺いします。

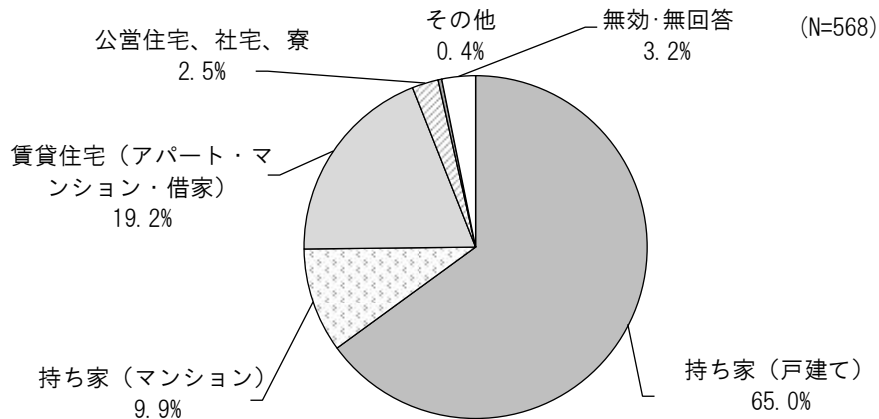
カ 現在の勤務地を教えてください。(該当する番号に1つ○をつけてください)



勤務地については、「長泉町」が 37.0%、「静岡県東部」が 56.1%などとなっています。また、この2つの選択肢の合計が全体の9割を超えています。

住まいの形態

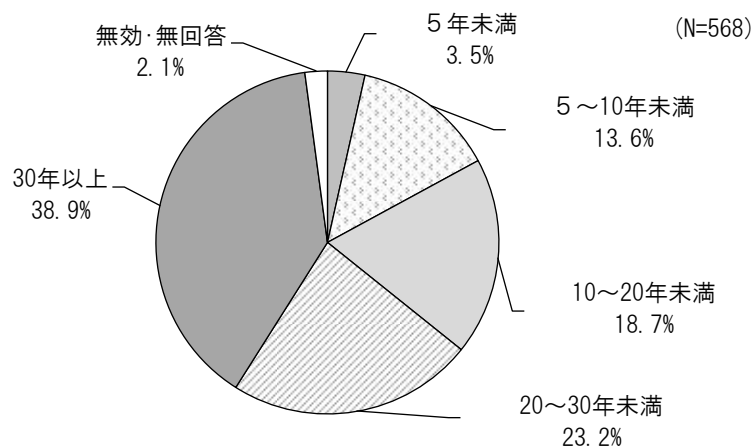
キ あなたの住まいの形態を教えてください。(該当する番号に1つ○をつけてください)



住まいの形態については、「持ち家(戸建て)」が65.0%、「持ち家(マンション)」が9.9%、「賃貸住宅(アパート・マンション・借家)」が19.2%などとなっています。

長泉町での居住年数

ク 長泉町にお住まいの年数を教えてください。(該当する番号に1つ○をつけてください)
＜通算年数をお答えください。一時的に町外に住んだ時期は除きます。＞

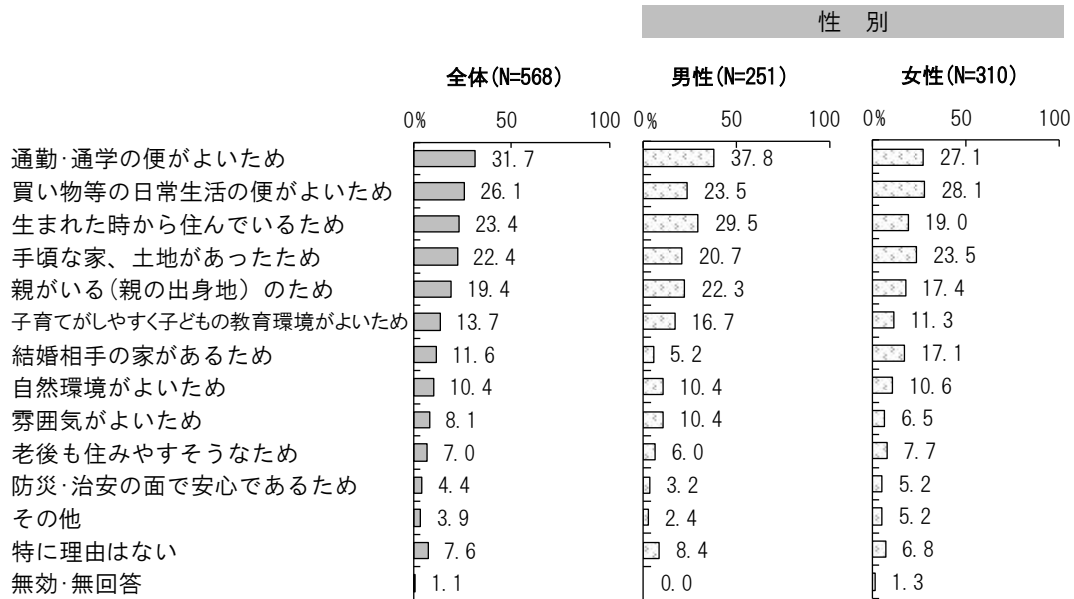


長泉町での居住年数については、「30年以上」が38.9%で最も多く、次いで「20~30年未満」が23.2%、「10~20年未満」が18.7%などとなっています。

I あなたの定住意識について

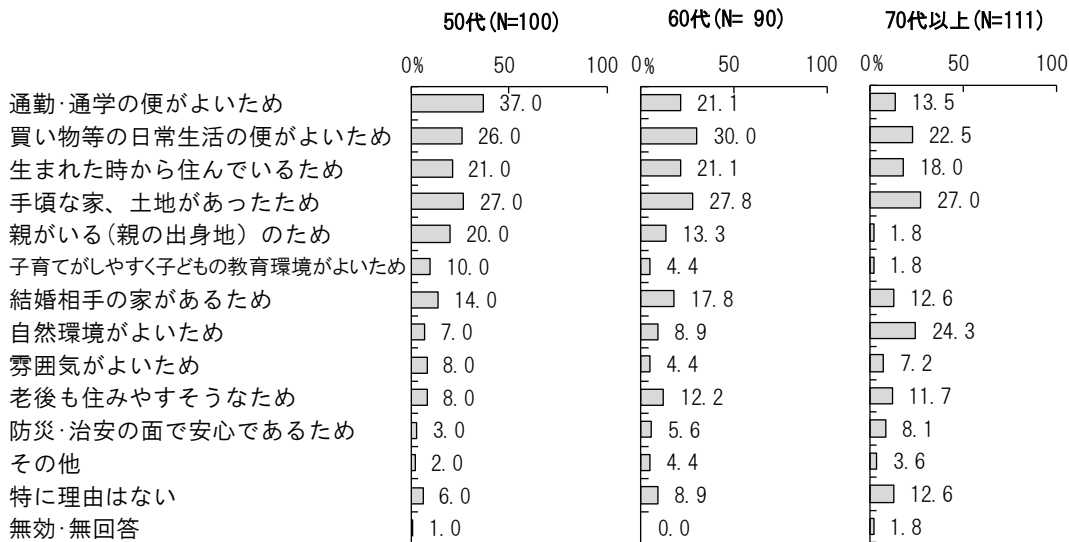
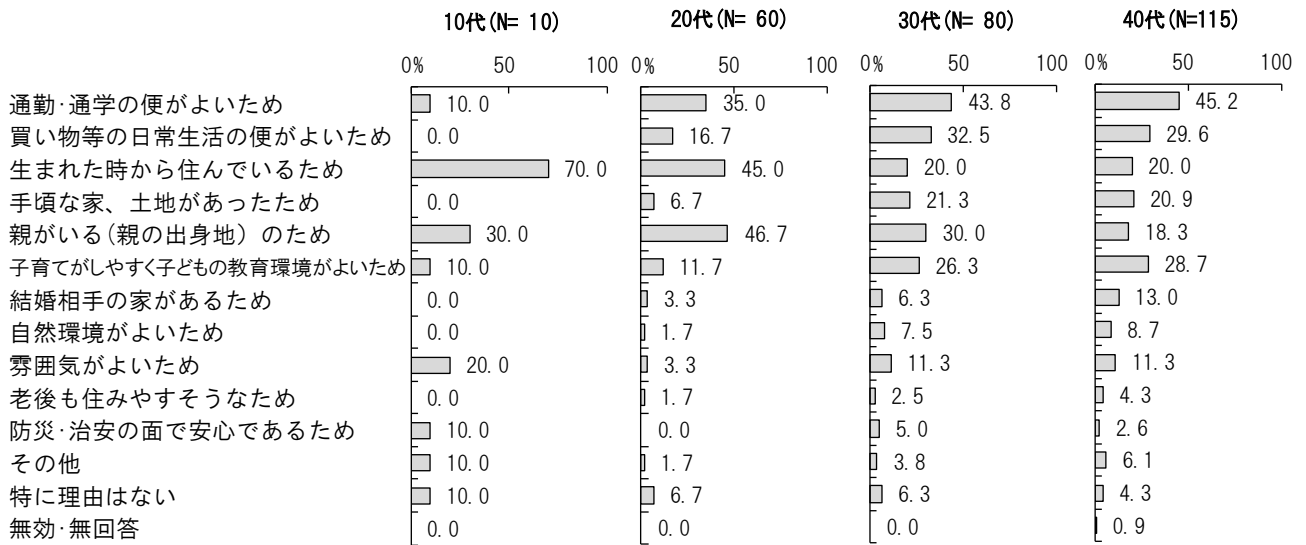
現在の地区に住んでいる理由

問1 現在の地区にお住まいの理由は何ですか。(該当する番号に3つ以内で○をつけてください)



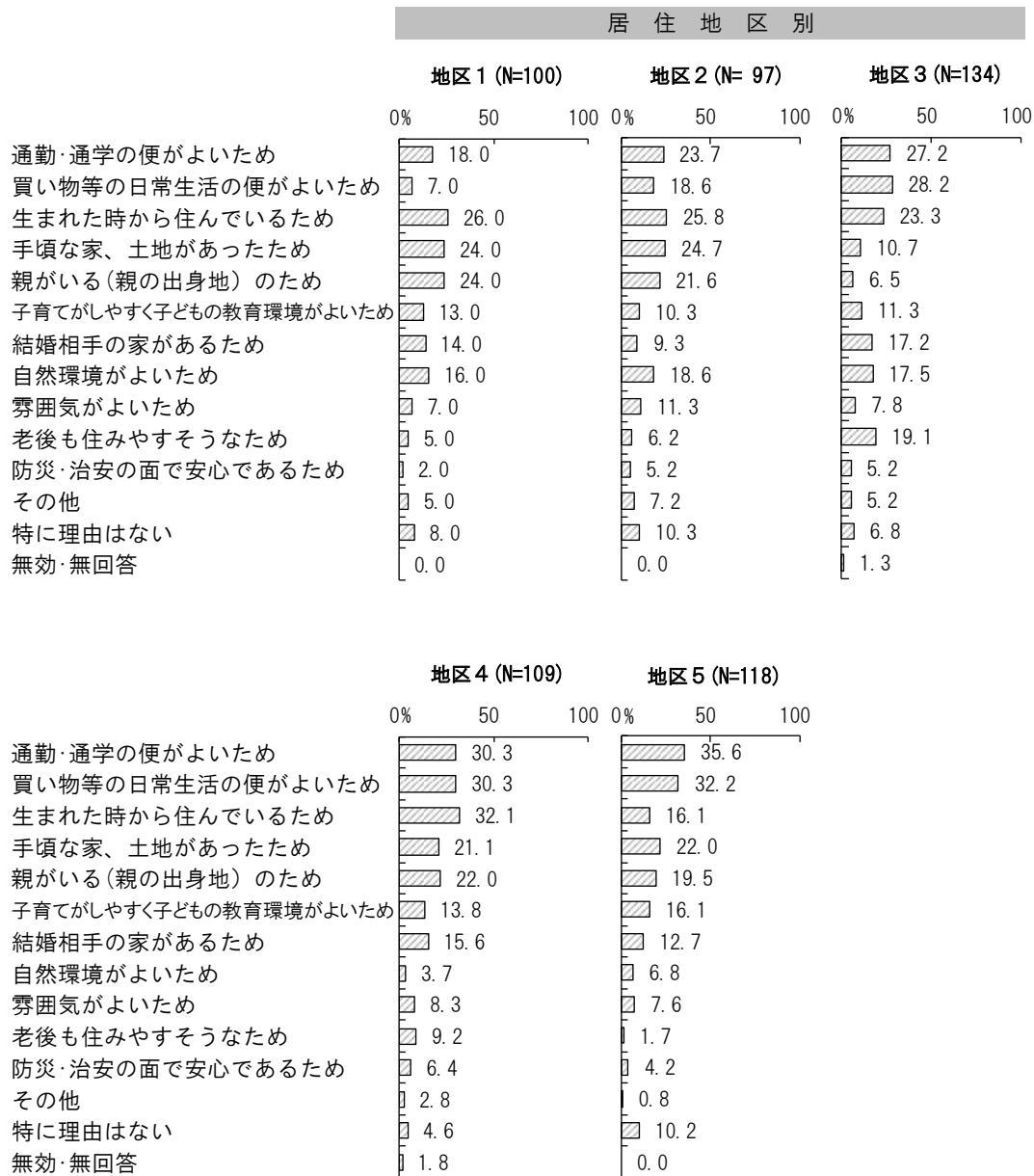
現在の地区に住んでいる理由については、「通勤・通学の便がよいため」が31.7%で最も多く、次いで「買い物等の日常生活の便がよいため」が26.1%、「生まれた時から住んでいるため」が23.4%、「手頃な家・土地があったため」が22.4%などとなっています。また、上記4つの選択肢において割合が20%を超えています。

年 代 別



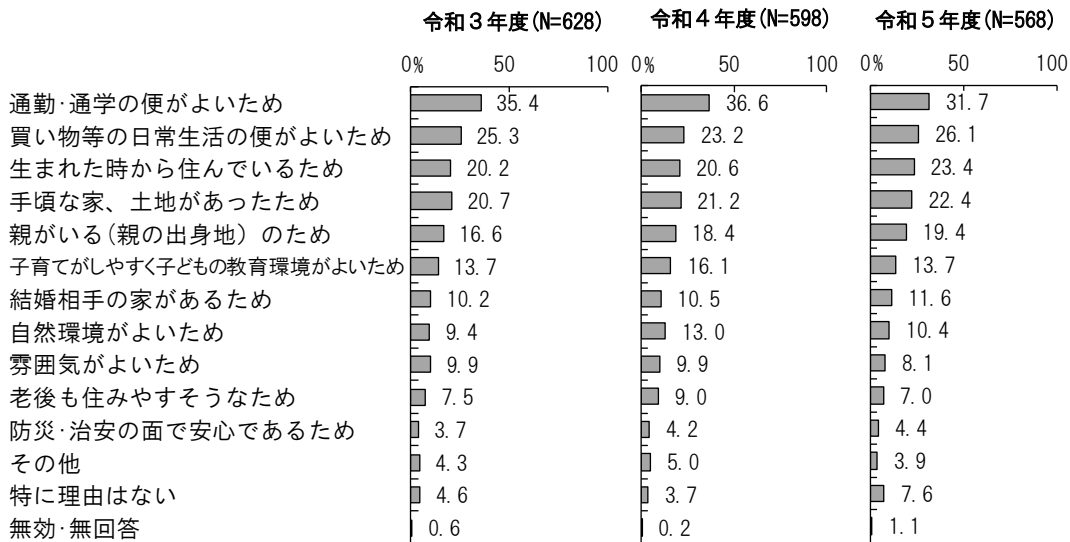
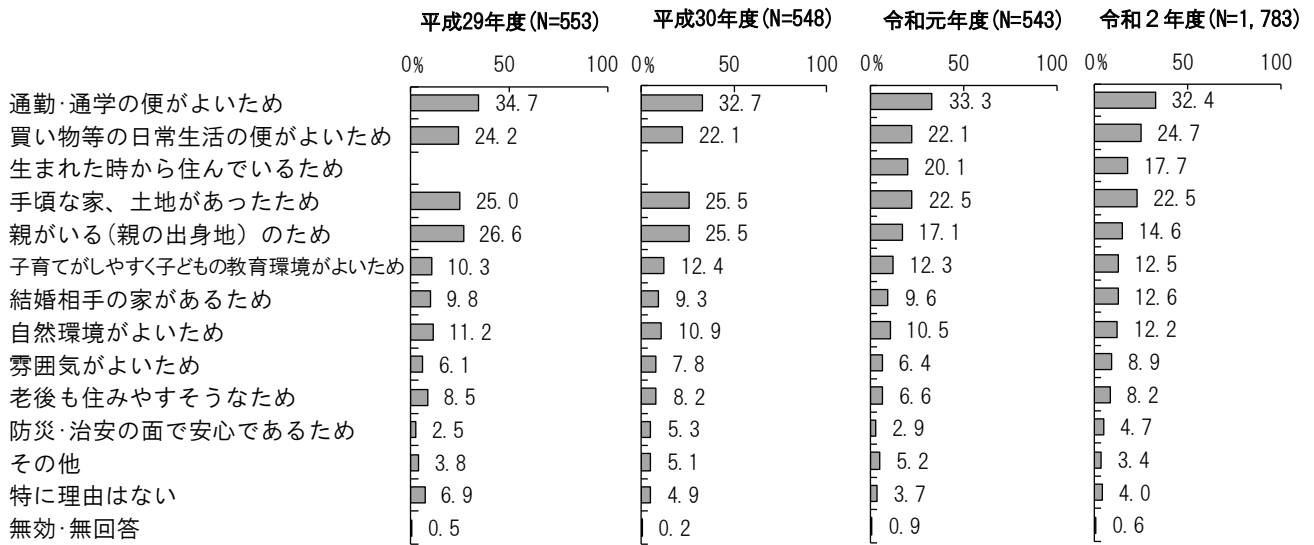
年代別にみると、10代、20代では「生まれた時から住んでいるため」、「親がいる（親の出身地）のため」がそれぞれ多くなっていますが、30代、40代では「通勤・通学の便がよいため」、「買い物等の日常生活の便がよいため」、50代、60代では「買い物等の日常生活の便がよいため」、「手頃な家、土地があったため」がそれぞれ上位となっています。なお、「子育てがしやすく子どもの教育環境がよいため」は、30代と40代で30%近くに達しています。

2. 調査結果



居住地区別にみると、地区3、地区4、地区5では「通勤・通学の便がよいため」、「買い物等の日常生活の便がよいため」がそれぞれ25%を超えています。

経年比較



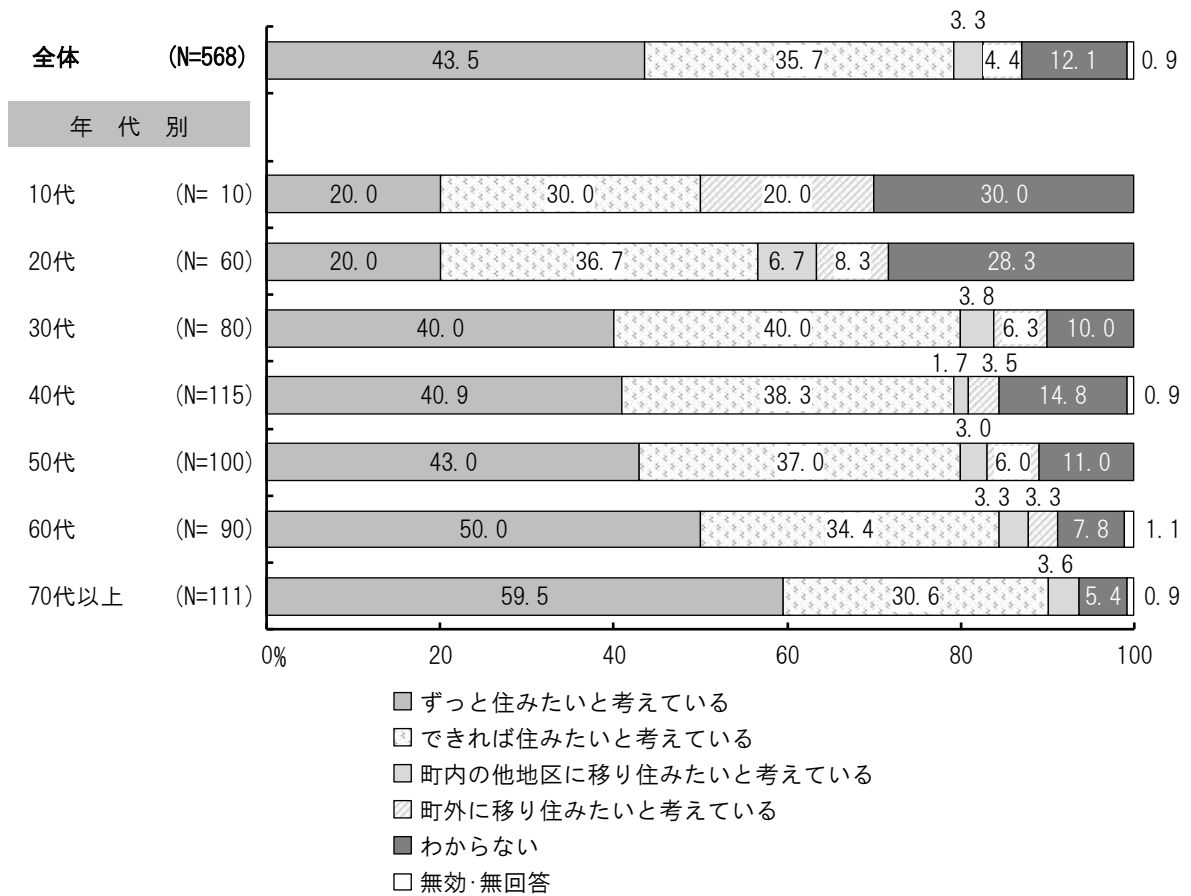
※「生まれた時から住んでいるため」は、令和元年度から追加された選択肢です。

*グラフ内の選択肢「買い物等の日常生活の便がよいため」は、スペースの都合上、「買い物等（通勤・通学を除く）の日常生活の便がよいため」を省略して表示しています。

現在の地区における継続居住意向

問2 あなたは現在の地区に、今後もずっと住みたいとお考えですか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)



現在の地区における居住意向については、「ずっと住みたいと考えている」が43.5%で最も多く、次いで「できれば住みたいと考えている」が35.7%、「わからない」が12.1%などとなっています。

年代別にみると、40代以上では「ずっと住みたいと考えている」が最も多く、かつ、年代が上になるほどその割合は高くなっています。一方、10代では20.0%、20代では8.3%が「町外に移り住みたいと考えている」としており、かつ、「わからない」も10代で30.0%、20代で28.3%と他の年代より割合が高くなっています。

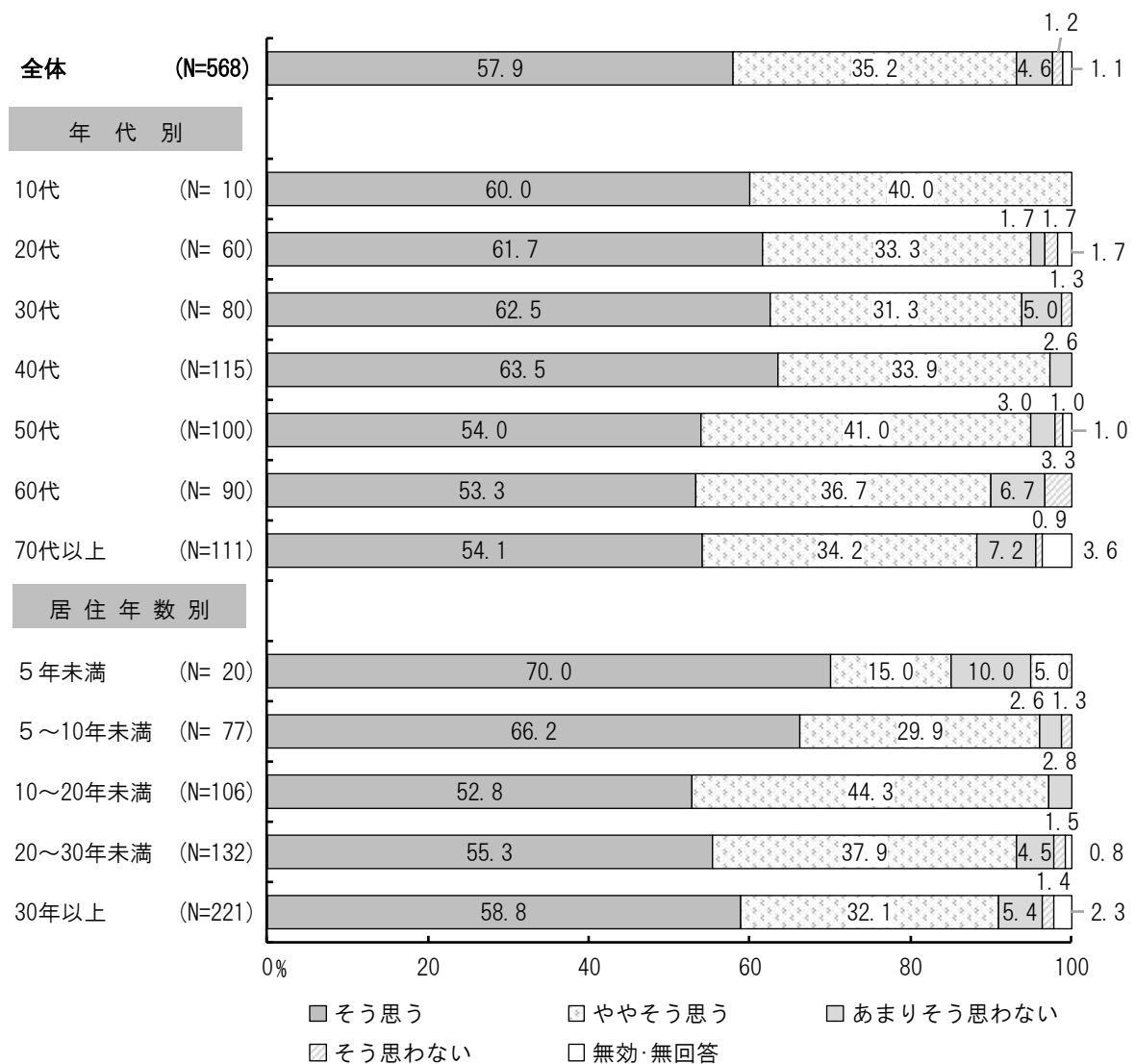
Ⅱ あなたが持っている「長泉町の印象」について

長泉町の印象に対する満足状況

問3 長泉町について（以下の1～8の項目）お答えください。

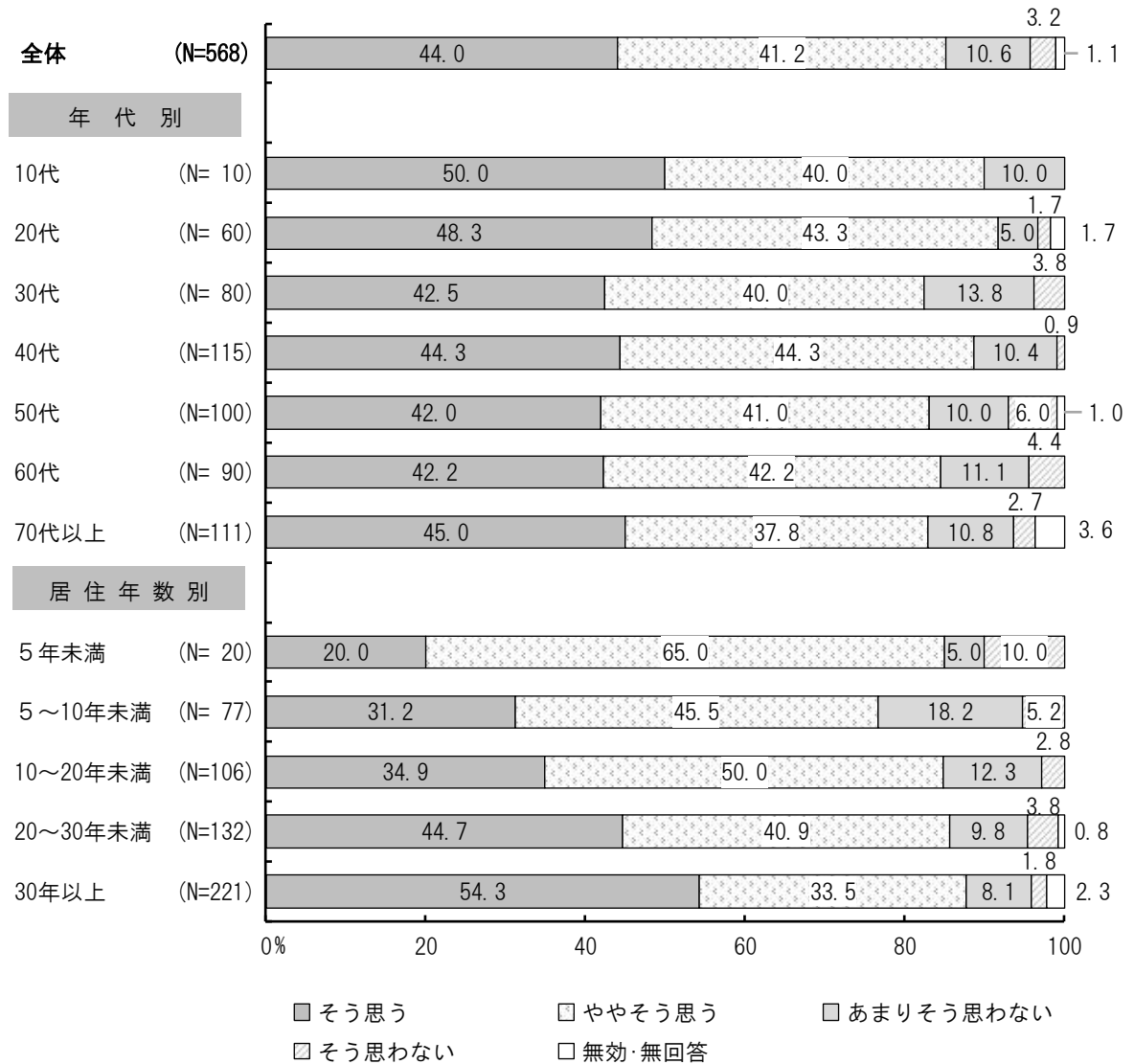
（それぞれの質問項目について、該当する番号に1つ〇をつけてください）

1. イメージの良い町である



「イメージの良い町である」については、「そう思う」が57.9%、「ややそう思う」が35.2%、「あまりそう思わない」が4.6%、「そう思わない」が1.2%となっています。また、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」の合計、以下も同じ）は93.1%、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」の合計、以下も同じ）は5.8%となっています。

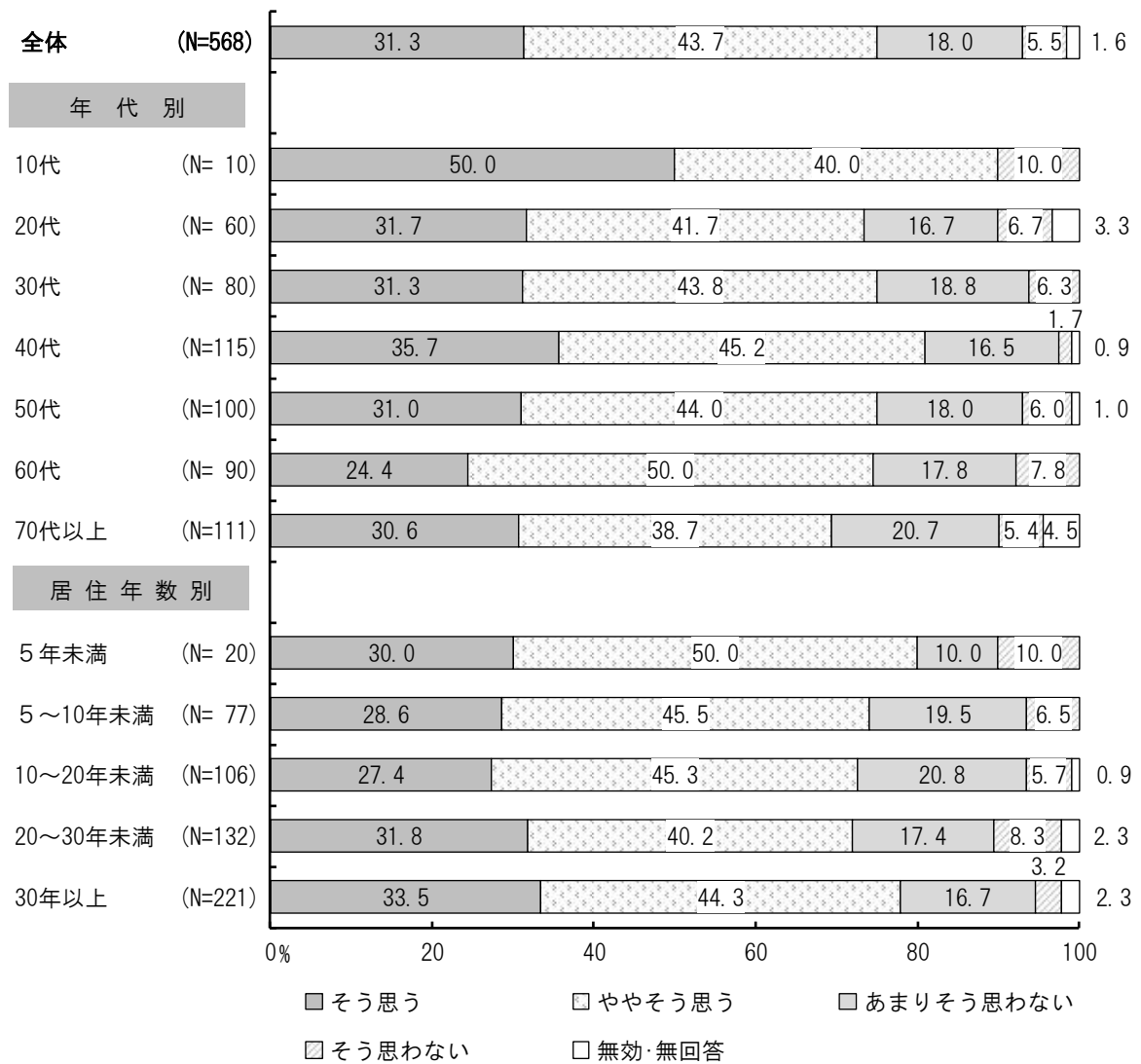
2. 愛着を持っている



「愛着を持っている」については、「そう思う」が44.0%、「ややそう思う」が41.2%、「あまりそう思わない」が10.6%、「そう思わない」が3.2%となっています。また、『思う』は85.2%、『思わない』は13.8%となっています。

年代別にみると、『思う』の割合はいずれも80%を超えています。一方、居住年数別にみると、年数が長くなるほど「そう思う」の割合が上昇しています。

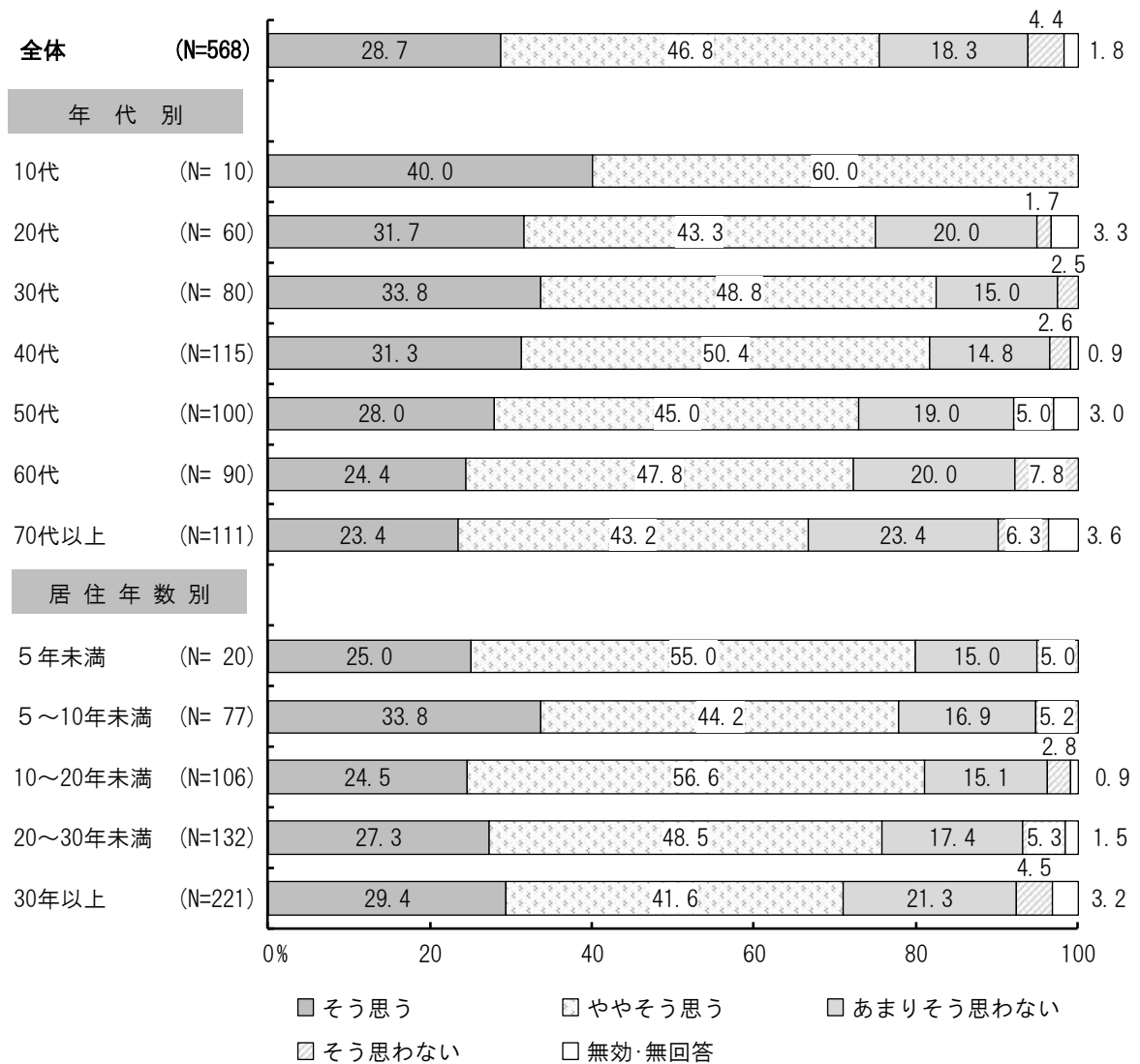
3. 住んでいることに誇りを持っている



「住んでいることに誇りを持っている」については、「そう思う」が 31.3%、「ややそう思う」が 43.7%、「あまりそう思わない」が 18.0%、「そう思わない」が 5.5%となっています。また、『思う』は 75.0%、『思わない』は 23.5%となっています。

年代別にみると、10代を除くすべての年代で「ややそう思う」が「そう思う」を上回っています。

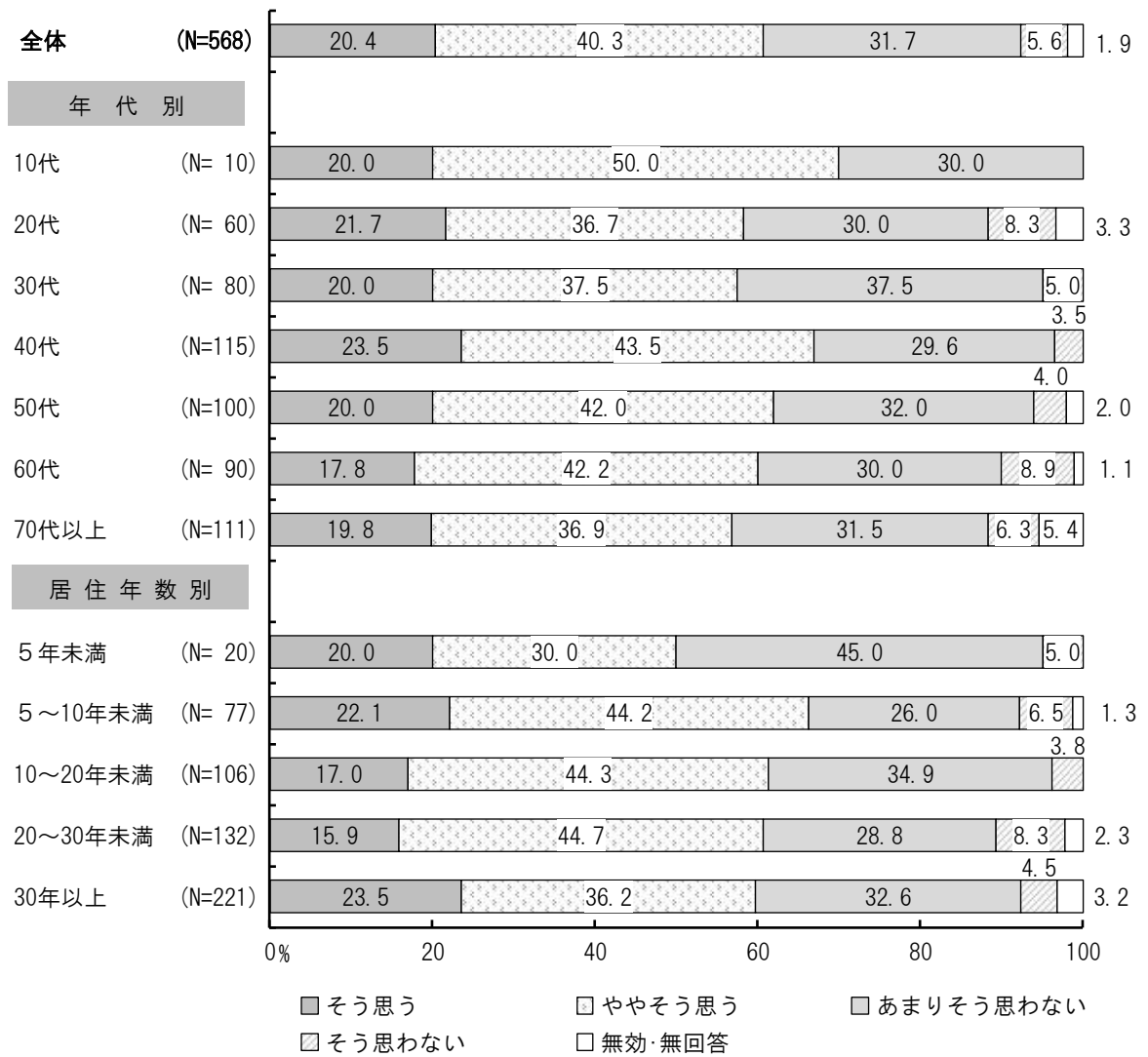
4. 居住について、町外の友人や知人に対して勧めたい



「居住について、町外の友人や知人に対して勧めたい」については、「そう思う」が28.7%、「ややそう思う」が46.8%、「あまりそう思わない」が18.3%、「そう思わない」が4.4%となっています。また、『思う』は75.5%、『思わない』は22.7%となっています。

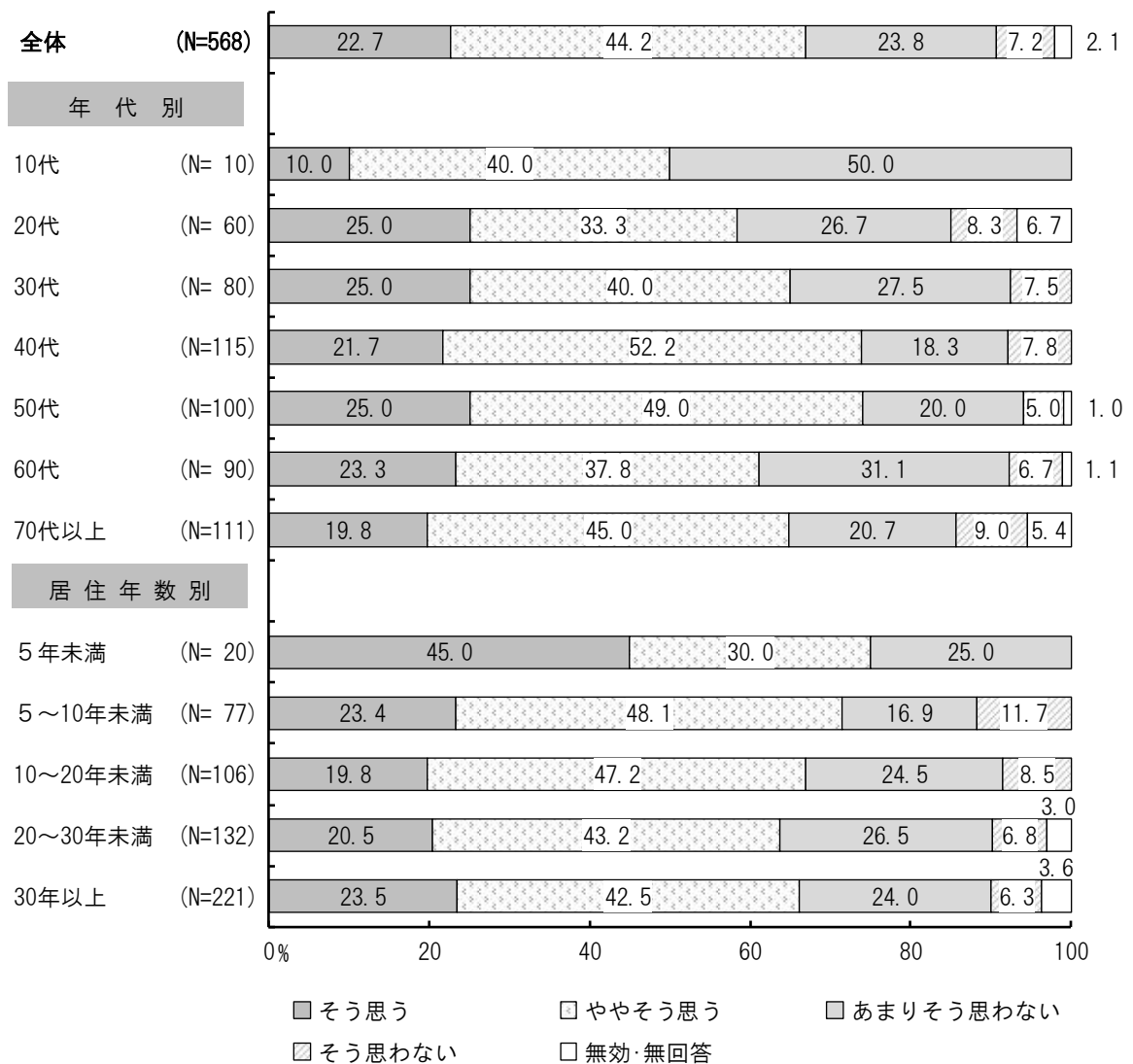
年代別にみると、30代、40代では『思う』の割合が80%を超えていますが、50代、60代では『思う』割合は70%台、70代以上では同じく60%台となっています。

5. 来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたい



「来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたい」については、「そう思う」が20.4%、「ややそう思う」が40.3%、「あまりそう思わない」が31.7%、「そう思わない」が5.6%となっています。また、『思う』は60.7%、『思わない』は37.3%となっています。

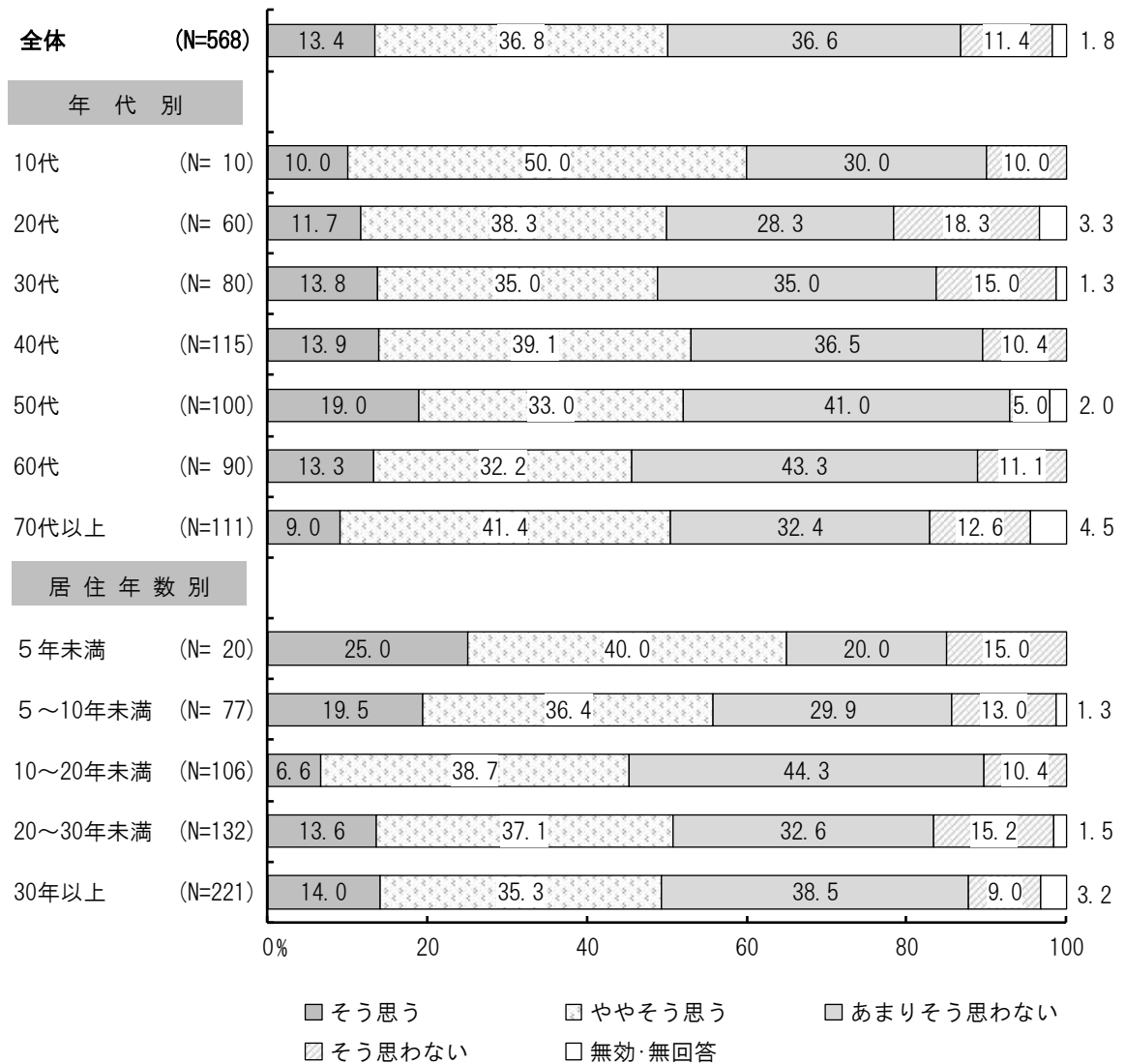
6. 町外の友人や知人などから羨ましいと思われる



「町外の友人や知人などから羨ましいと思われる」については、「そう思う」が22.7%、「ややそう思う」が44.2%、「あまりそう思わない」が23.8%、「そう思わない」が7.2%となっています。また、『思う』は66.9%、『思わない』は31.0%となっています。

年代別にみると、40代、50代では『思う』の割合が70%を超えています。

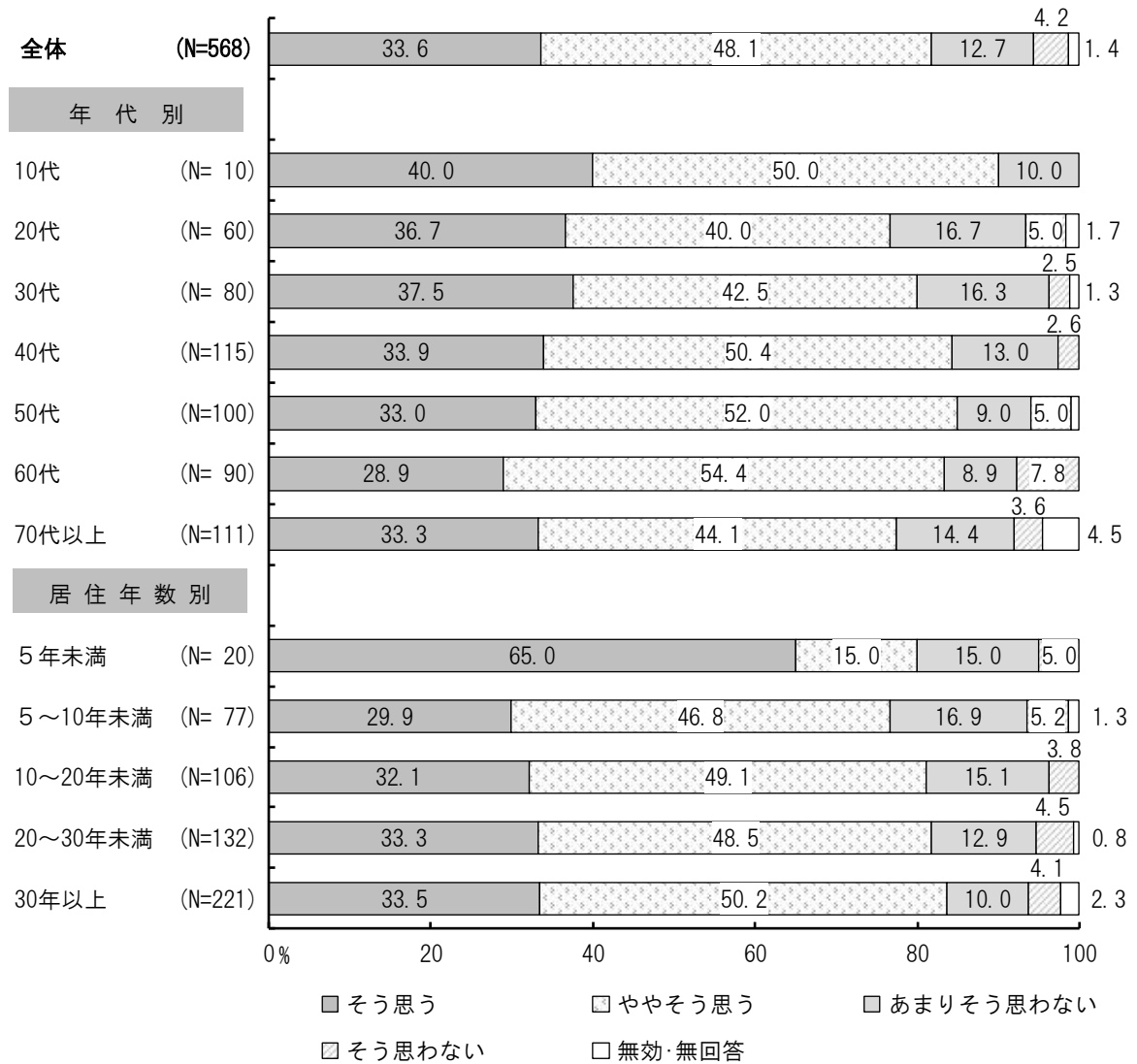
7. 町の魅力や良いところを積極的に発信している



「町の魅力や良いところを積極的に発信している」については、「そう思う」が13.4%、「ややそう思う」が36.8%、「あまりそう思わない」が36.6%、「そう思わない」が11.4%となっています。また、『思う』は50.2%、『思わない』は48.0%で、その差は他の質問項目より小さくなっています。

年代別にみると、30代、60代で『思わない』の割合が『思う』を上回っています。また、居住年数別にみると「10～20年未満」で『思わない』の割合が『思う』を上回っています

8. 長泉町での今の生活に満足している



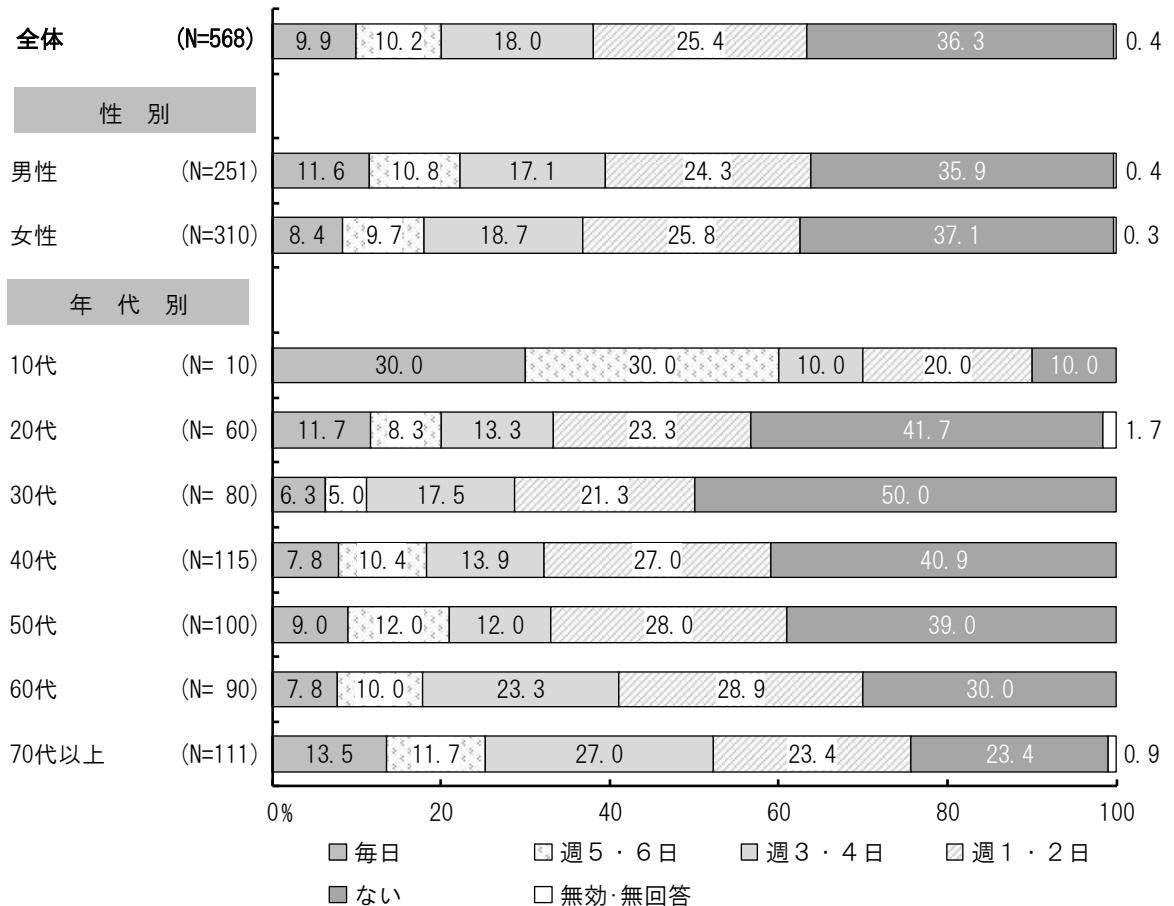
「長泉町での今の生活に満足している」については、「そう思う」が 33.6%、「ややそう思う」が 48.1%、「あまりそう思わない」が 12.7%、「そう思わない」が 4.2%となっています。また、『思う』は 81.7%、『思わない』は 16.9%となっています。

年代別にみると、『思う』の割合は、10代を除く各年代で 75%～85%の範囲内にあり、比較的差は小さくなっています。ただし、20代～60代の範囲では上の年代になるほど「ややそう思う」と「そう思う」の差が開いていく傾向がみられます。

Ⅲ 今後のより良いまちづくりを進めていくための「第5次総合計画の指標に関する項目」などについて

10分以上連続した健康づくりをする週あたりの日数

問4 あなたは平均的な1週間で10分以上連続した健康づくり（ウォーキングや体操など）をすることは何日ありますか。（該当する番号に1つ○をつけてください）

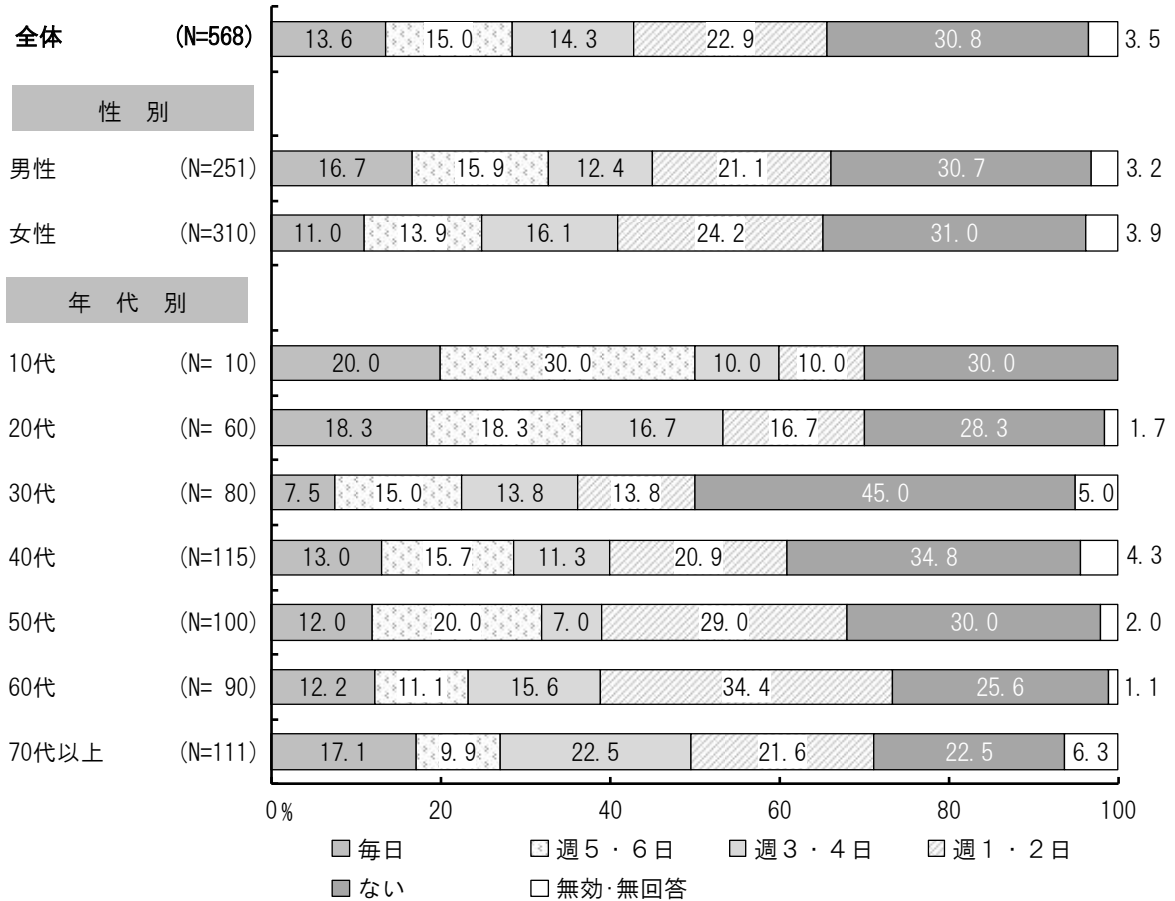


10分以上連続した健康づくりをする週あたりの日数については、「ない」が36.3%と最も多く、次いで「週1・2日」が25.4%、「週3・4日」が18.0%などとなっています。

年代別では、30代では「ない」が50.0%に達しています。一方で、40代以上では年代が上になるほど「ない」の割合が低下し、何らかの健康づくりをする人の割合が高くなっています。

10分以上続けて歩く週あたりの日数

問5 あなたは平均的な1週間で10分以上続けて歩くことは何日ありますか。
(該当する番号に1つ○をつけてください)

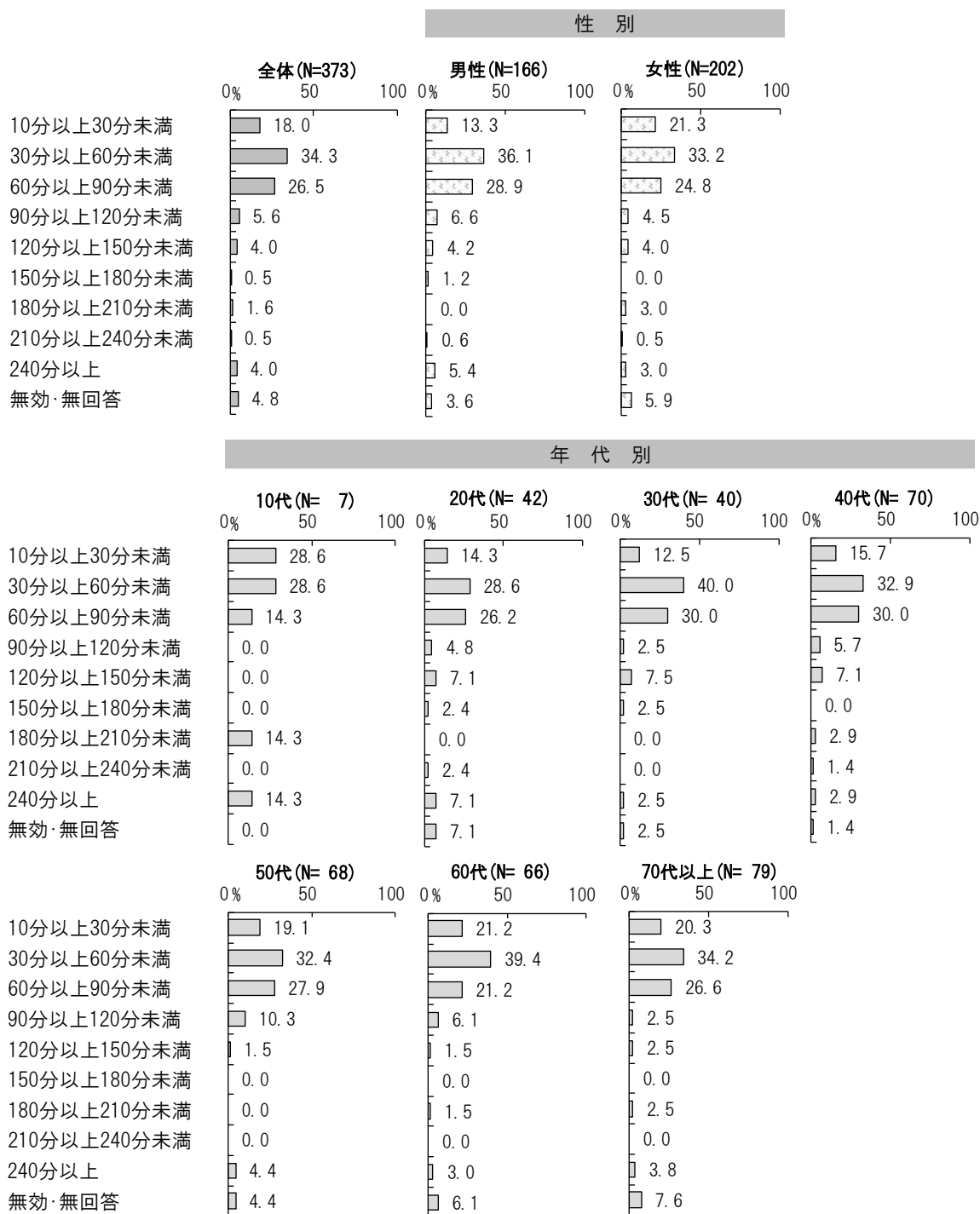


10分以上続けて歩く週あたりの日数については、「ない」が30.8%と最も多く、次いで「週1・2日」が22.9%、「週5・6日」が15.0%などとなっています。

年代別では、「ない」が30代で45.0%と最も高くなっています。

歩行時間

※問5で「毎日」、「週5・6日」、「週3・4日」、「週1・2日」とお答えの方にお伺いします。
 補問5-1 1日の平均的な歩行時間をお答えください。

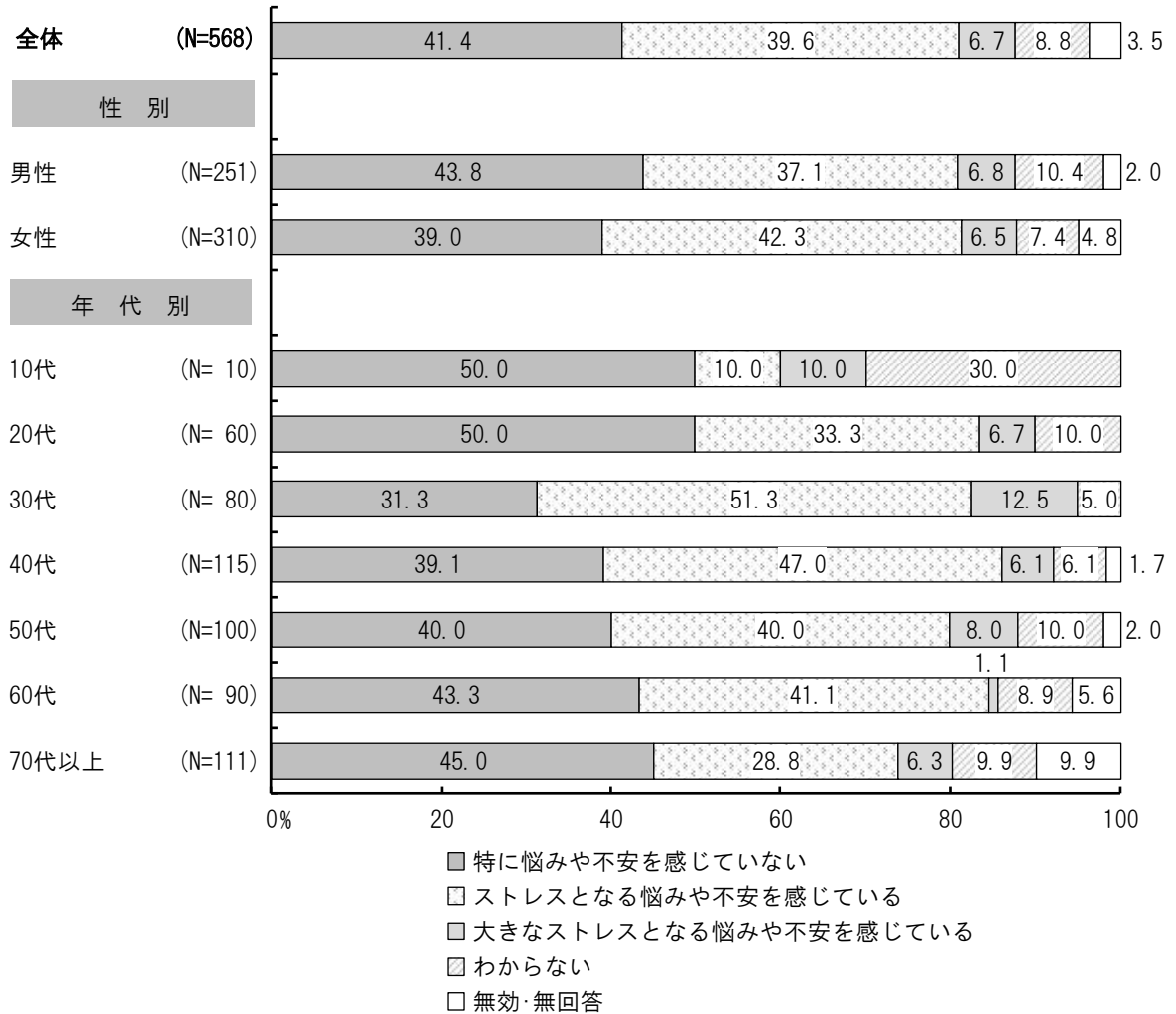


1日の平均的な歩行時間については、「30分以上60分未満」が34.3%と最も多く、次いで「60分以上90分未満」が26.5%、「10分以上30分未満」が18.0%などとなっています。また、上記3つの選択肢の合計は全体の78.8%を占めています。

生活の中での悩みや不安の有無

問6 あなたは普段生活する中で、悩みや不安を感じていますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)



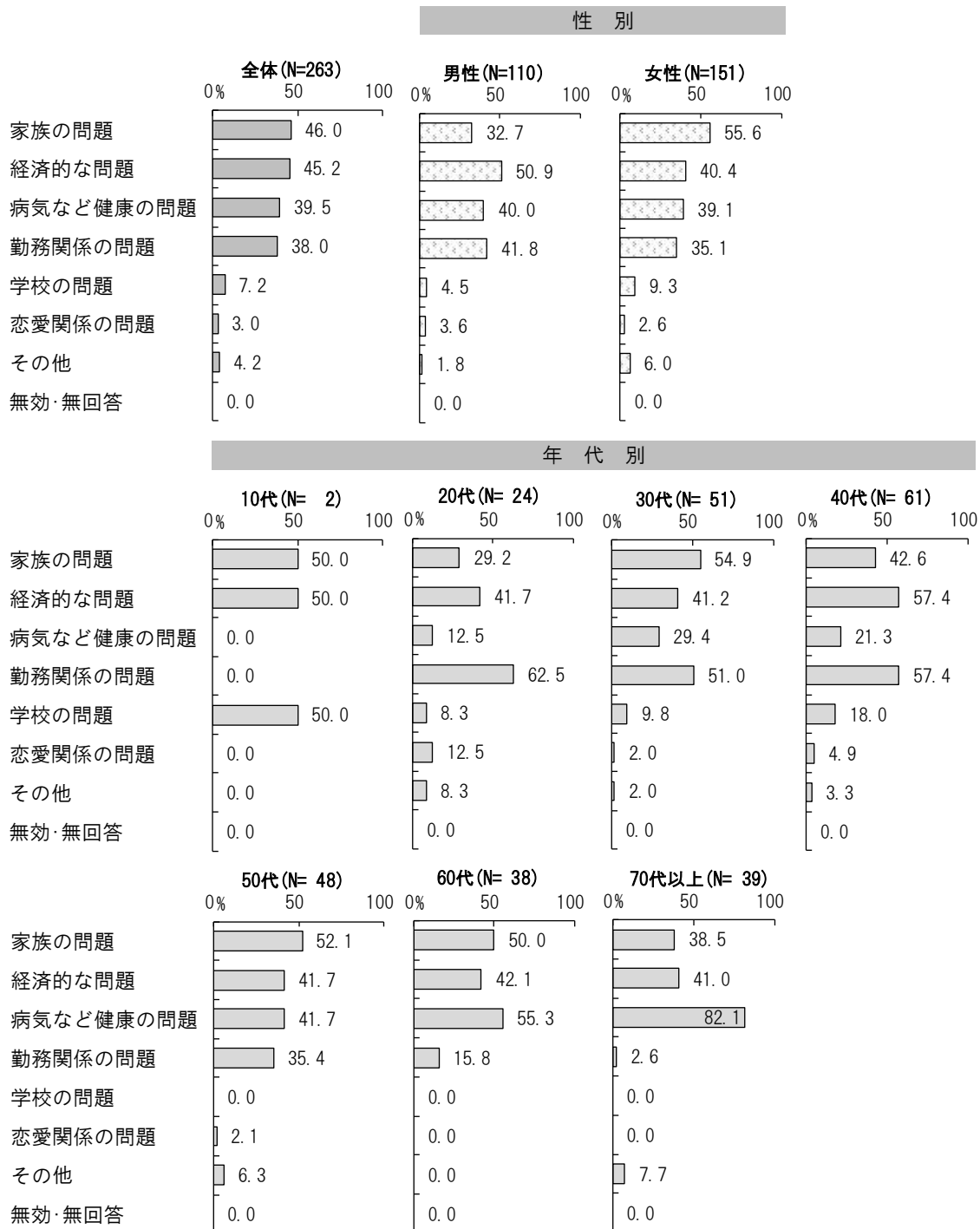
生活の中での悩みや不安の有無については「特に悩みや不安を感じていない」が41.4%、「ストレスとなる悩みや不安を感じている」が39.6%、「大きなストレスとなる悩みや不安を感じている」が6.7%などとなっています。

年代別にみると、30代、40代、50代において、「ストレスとなる悩みや不安を感じている」と「大きなストレスとなる悩みや不安を感じている」の合計が、「特に悩みや不安を感じていない」の割合を上回っています。

日ごろ感じている悩みや苦勞

※問6で「ストレスとなる悩みや不安を感じている」または「大きなストレスとなる悩みや不安を感じている」とお答えの方にお伺いします。

補問6-1 あなたが日ごろ、悩みや苦勞、ストレス、不満、不安を感じることは何ですか。
(該当する番号すべてに○をつけてください)



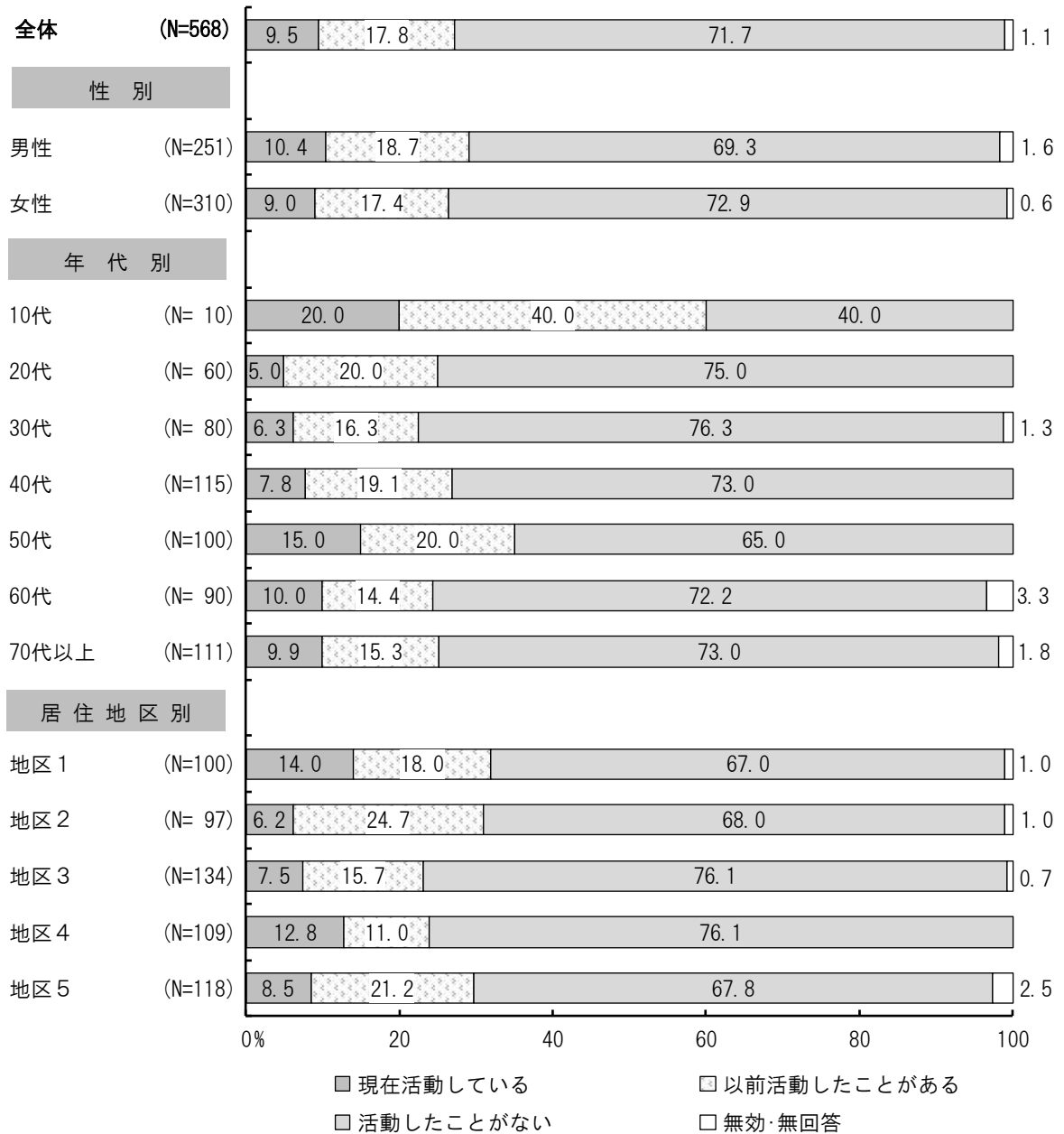
日ごろ感じている悩みや苦勞などについては、「家族の問題」が46.0%で最も多く、次いで「経済的な問題」が45.2%、「病気など健康の問題」が39.5%などとなっています。

年代別にみると、20代では「勤務関係の問題」、30代、50代では「家族の問題」、40代では「経済的な問題」と「勤務関係の問題」、60代、70代では「病気など健康の問題」が最も多くなっています。

ボランティア活動や助け合い活動の参加状況

問7 あなたはボランティア活動や助け合い活動に参加していますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)

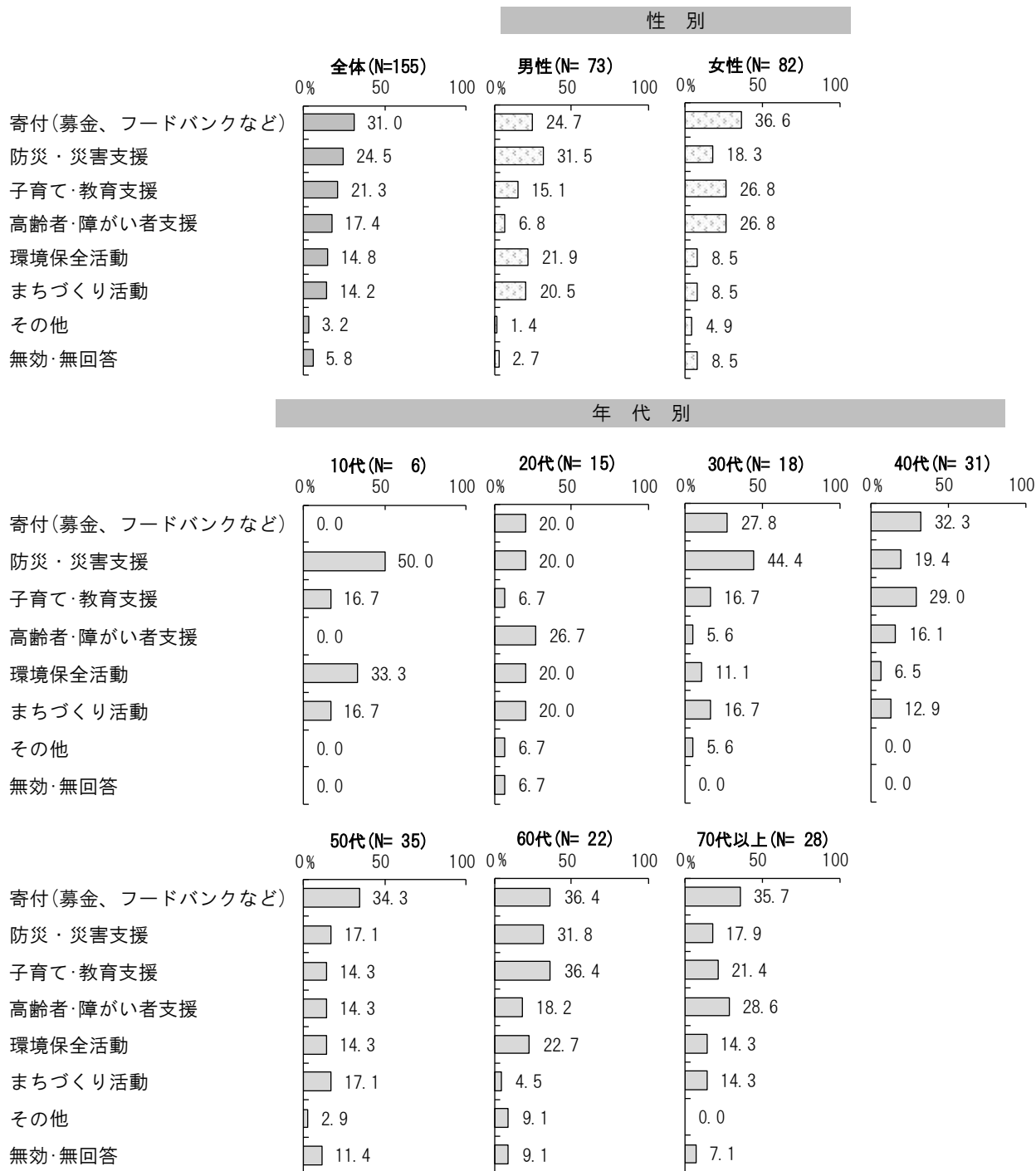


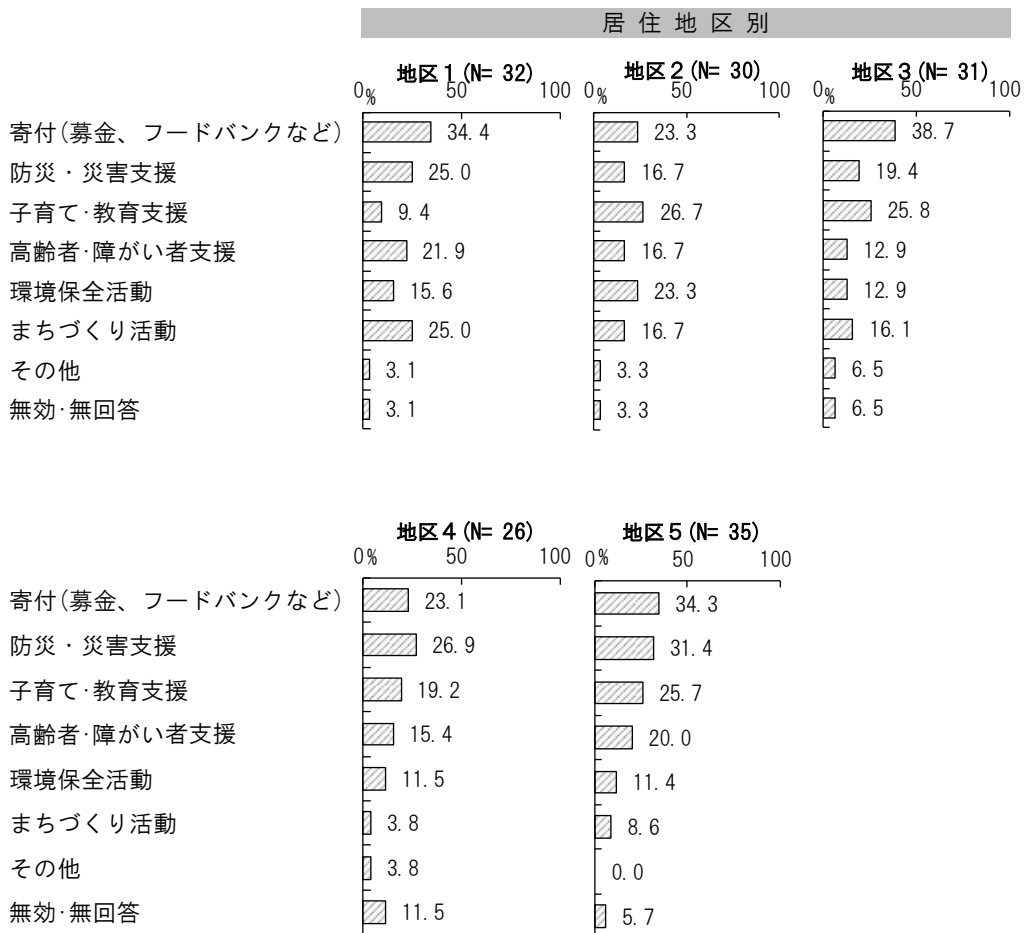
ボランティア活動や助け合い活動の参加状況については、「現在活動している」が9.5%、「以前活動したことがある」が17.8%、「活動したことがない」が71.7%などとなっています。

取り組んでいる活動の内容

※問7で「現在活動している」または「以前活動したことがある」とお答えの方にお伺いします。

補問7-1 あなたが現在取り組んでいるボランティア活動や助け合い活動の内容について教えてください。(該当する番号すべてに○をつけてください)





取り組んでいる活動の内容については、「寄付（募金、フードバンクなど）」が31.0%で最も多く、次いで「防災・災害支援」が24.5%、「子育て・教育支援」が21.3%などとなっています。

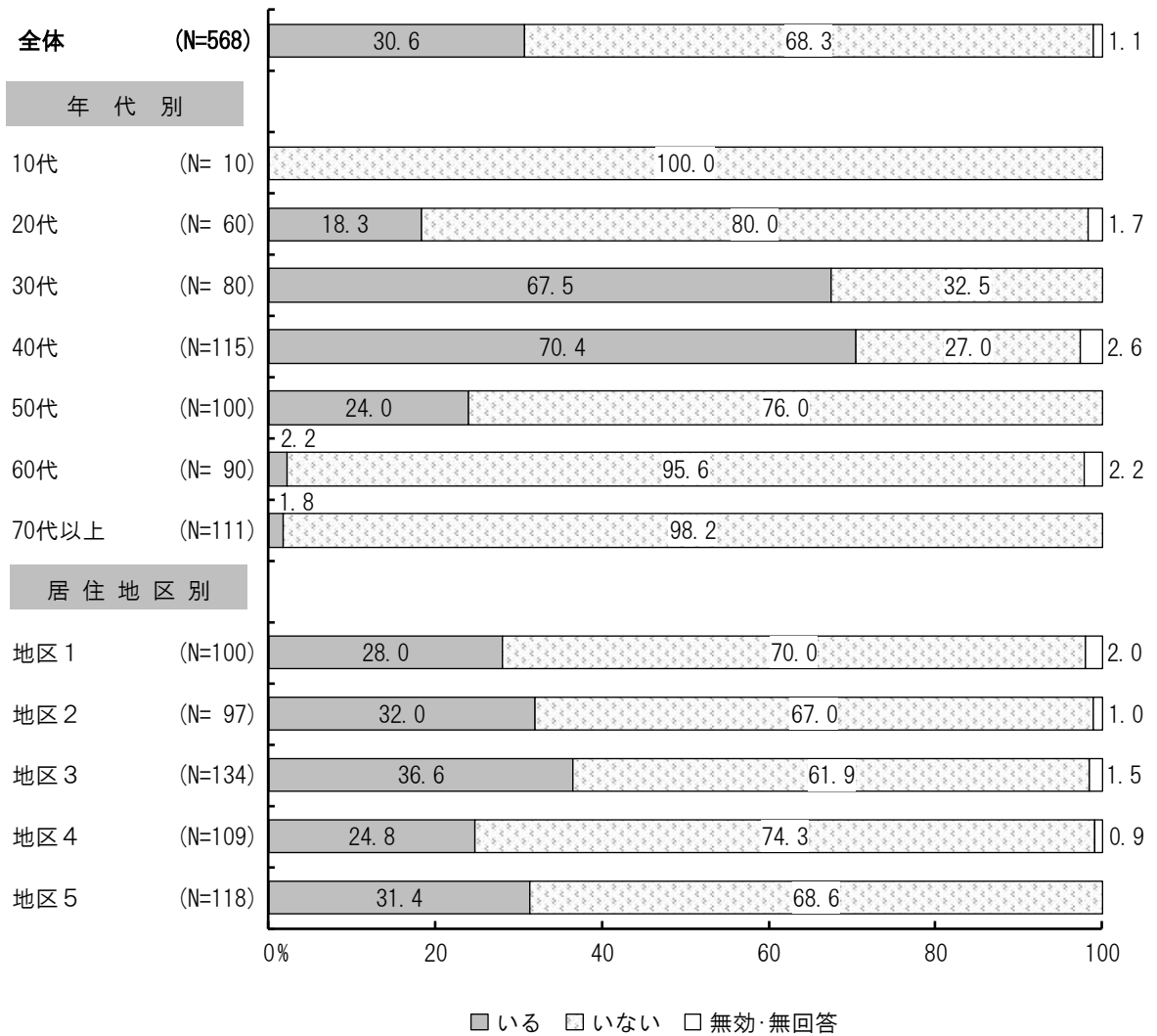
性別にみると、男性では「防災・災害支援」が31.5%、女性では「寄付（募金、フードバンクなど）」が36.6%でそれぞれ最も多くなっています。

年代別にみると、20代では「高齢者・障がい者支援」、30代では「防災・災害支援」、40代、50代、60代では「寄付（募金、フードバンクなど）」、60代では「寄付（募金、フードバンクなど）」と「子育て・教育支援」がそれぞれ最も多くなっています。

居住地区別にみると、地区1、地区3、地区5では「寄付（募金、フードバンクなど）」、地区2では「子育て・教育支援」、地区4では「防災・災害支援」がそれぞれ最も多くなっています。

18歳未満の子の有無

問8 あなたは18歳未満のお子さんがいますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)



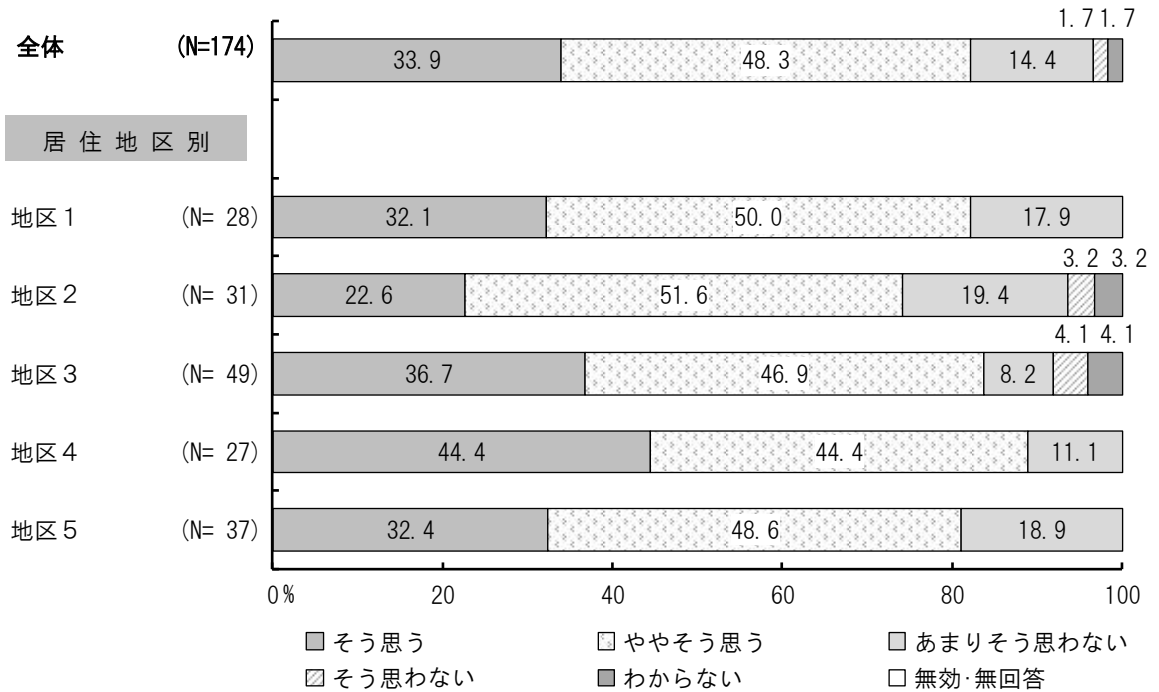
18歳未満の子の有無については、「いる」が30.6%、「いない」が68.3%となっています。
 年代別にみると、30代、40代では「いる」がそれぞれ70%前後に達しています。また、50代では「いる」が24.0%、20代では同じく18.3%となっています。

町内の子育ての環境や支援が充実しているか

※問8で「いる」とお答えの方にお伺いします。

補問8-1 あなたは長泉町の子育ての環境や支援が充実していると思いますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)



「町内の子育ての環境や支援が充実しているか」については、「そう思う」が33.9%、「ややそう思う」が48.3%、「あまりそう思わない」が14.4%、「そう思わない」が1.7%となっています。

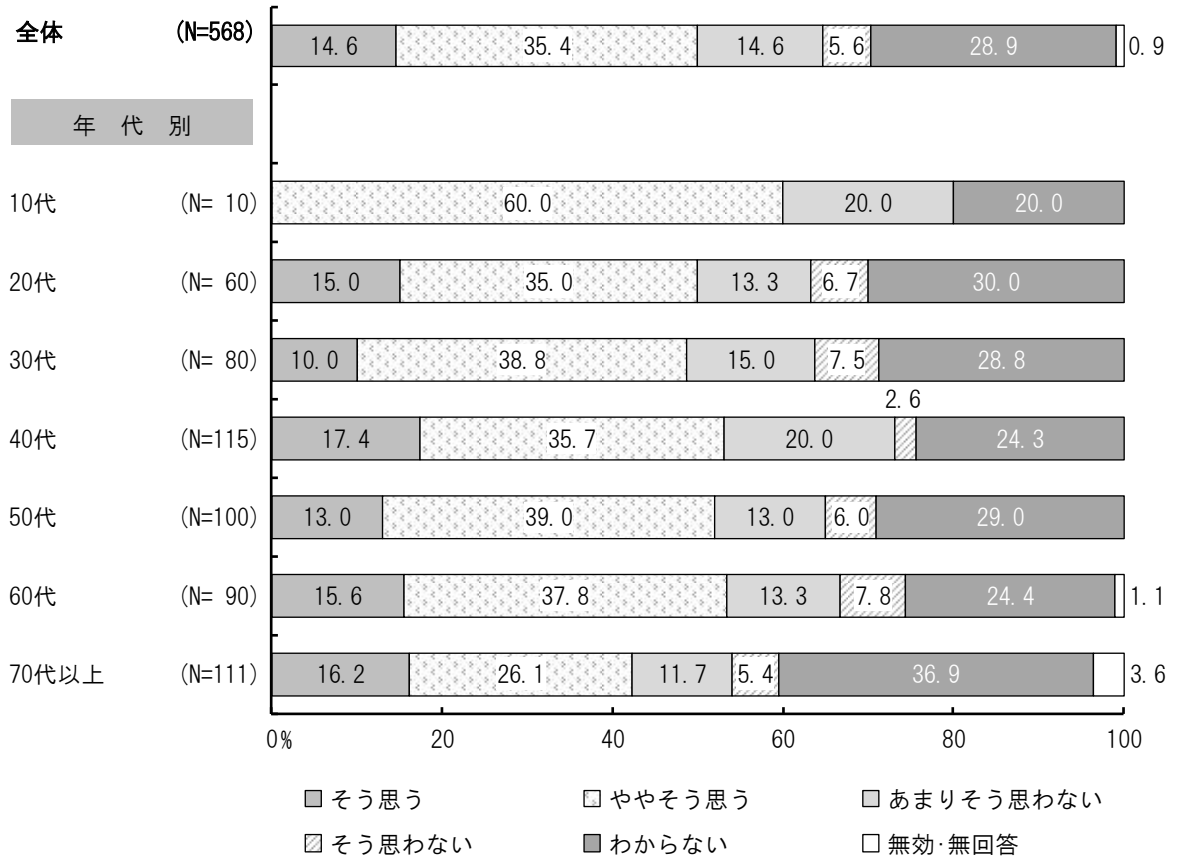
居住地区別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合は、最も高い地区4では88.8%、最も低い地区2では74.2%となっています。

生涯学習の機会や活動支援が充実しているか

問9 あなたは生涯学習の機会や活動支援について充実していると思いますか。

※生涯学習…生涯にわたって行う学習活動（語学、スポーツ、芸術、趣味など）

（該当する番号に1つ○をつけてください）

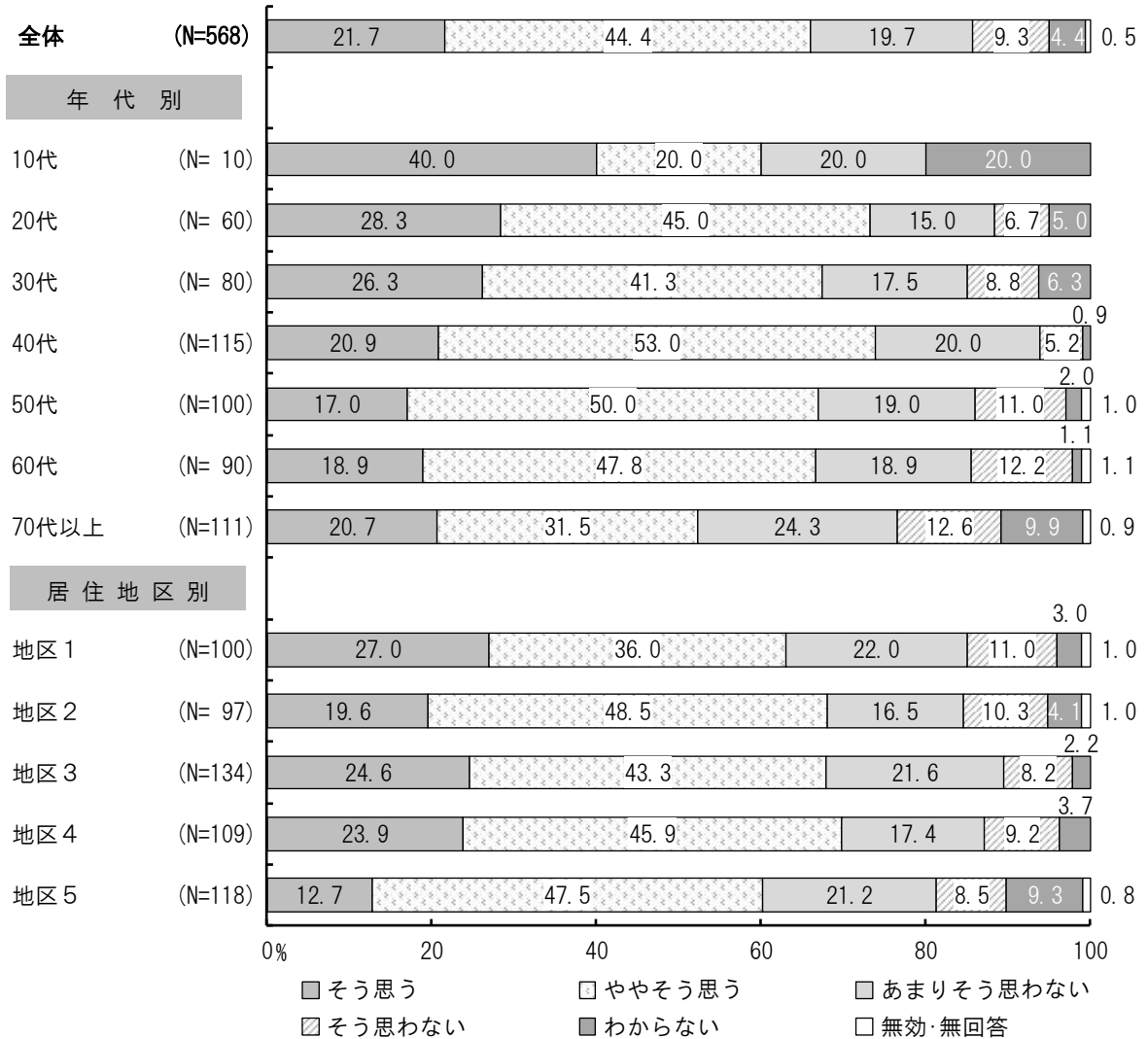


「生涯学習の機会や活動支援が充実しているか」については、「ややそう思う」が 35.4%で最も多くなっています。一方で、「わからない」も 28.9%みられます。

年代別にみると、10代～60代では「ややそう思う」がそれぞれ最も多くなっていますが、70代以上では「わからない」が「ややそう思う」を上回って最も多くなっています。

長泉町内の道路が充実しているか

問10 あなたは日常の生活で使っている長泉町内の道路が充実していると思いますか。
(該当する番号に1つ○をつけてください)

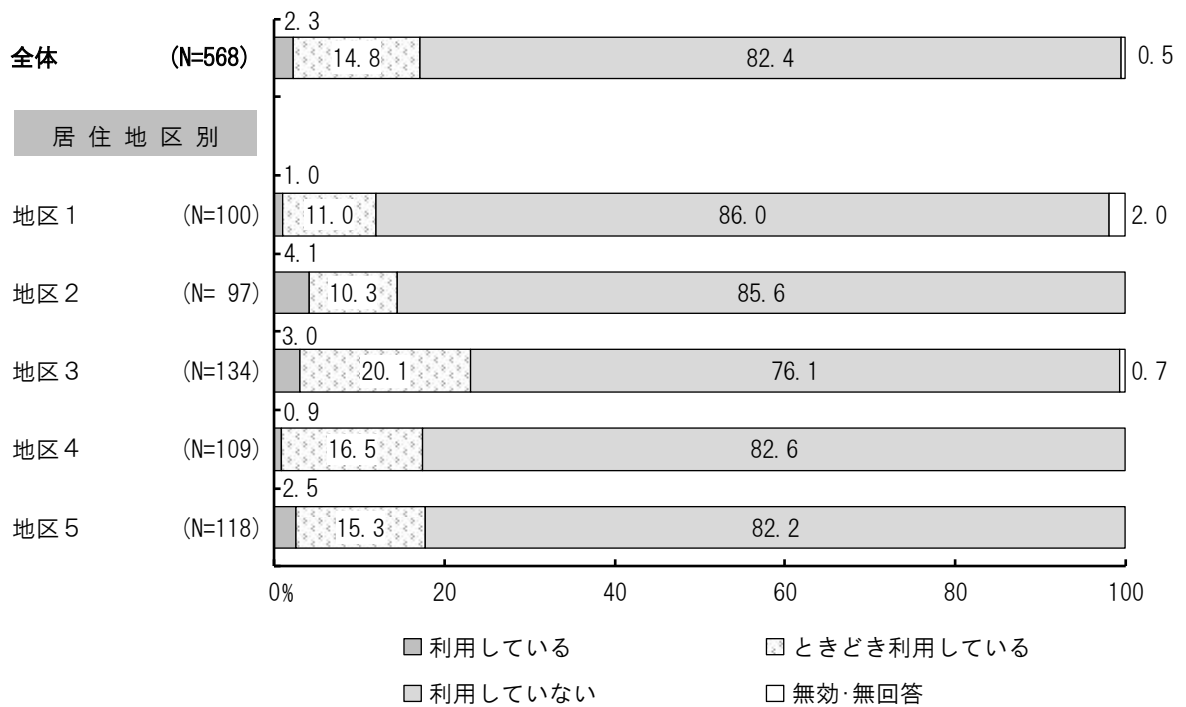


「日常生活で使う町内の道路が充実しているか」については、「ややそう思う」が44.4%で最も多く、次いで「そう思う」が21.7%、「あまりそう思わない」が19.7%などとなっています。

年代別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合が、20代と40代ではそれぞれ70%を超えていますが、10代、30代、50代、60代ではそれぞれ60%台、70代以上では50%台となっています。

居住地区別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合は、最も高い地区4では69.8%、最も低い地区5では60.2%となっています。

問11 あなたは日頃長泉町内の公共交通（バス、タクシーなど）を利用していますか。
 （該当する番号に1つ○をつけてください）



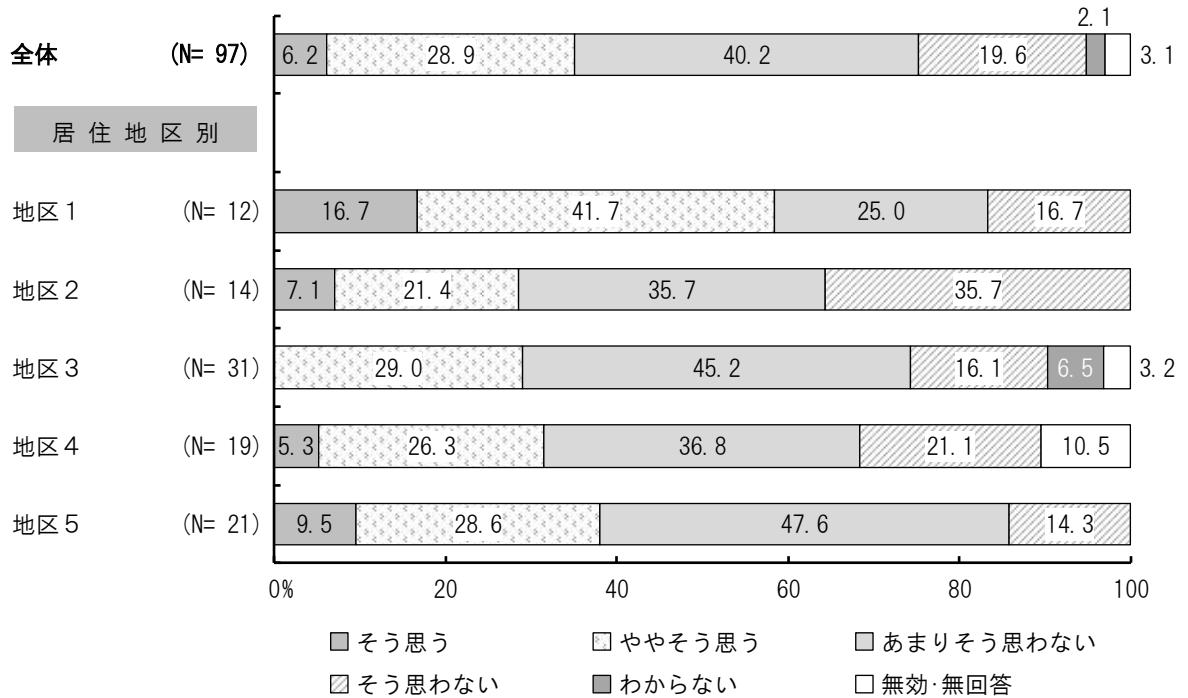
町内の公共交通の利用状況については、「利用している」が 2.3%、「ときどき利用している」が 14.8%、「利用していない」が 82.4%となっています。
 居住地区別にみると、「利用している」と「ときどき利用している」を合計した割合は、最も高い地区3で 23.1%、最も低い地区1で 12.0%となっています。

長泉町内の公共交通は充実しているか

※問11で「利用している」または「ときどき利用している」とお答えの方にお伺いします。

補問11-1 長泉町内の公共交通は充実していると思いますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)



「町内の公共交通が充実しているか」については、「あまりそう思わない」が40.2%で最も多く、次いで「ややそう思う」が28.9%、「そう思わない」が19.6%などとなっています。

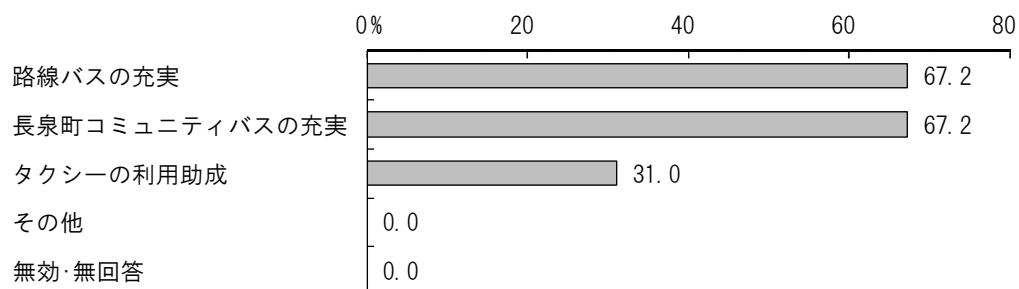
居住地区別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合は、最も高い地区1で58.4%、最も低い地区2で28.5%となっています。

拡充を望む公共交通施策

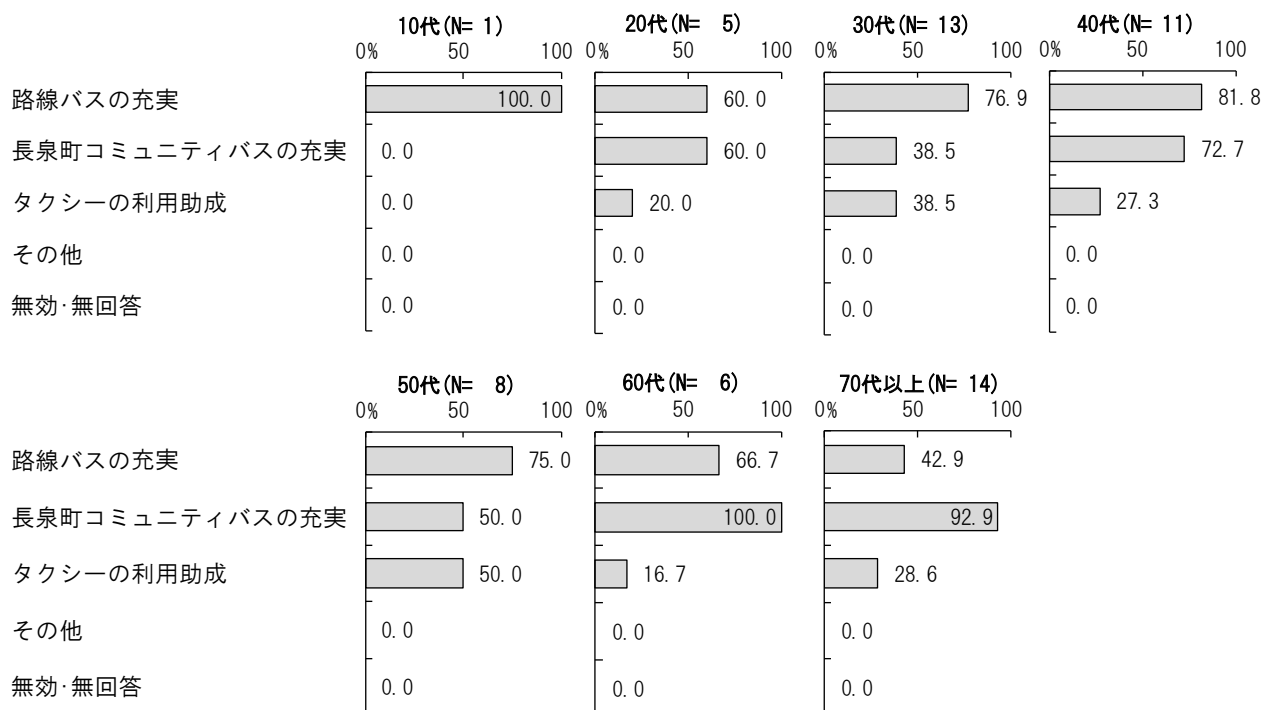
※補問11-1で「あまりそう思わない」または「思わない」とお答えの方にお伺いします。

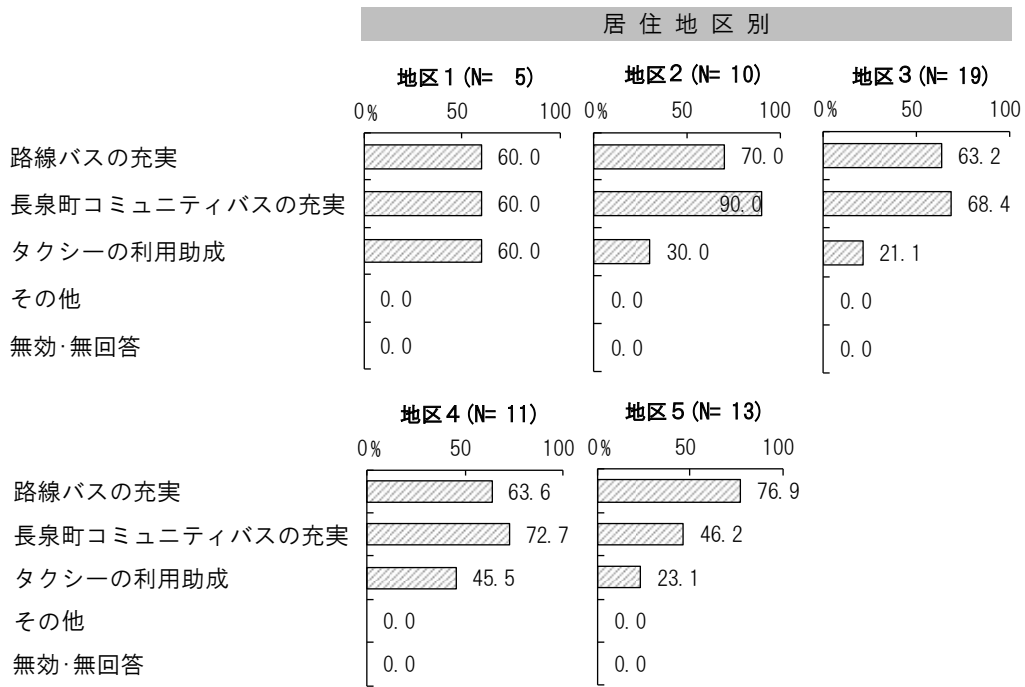
補問11-1-1 拡充を望む公共交通施策はどれですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

(N= 58)



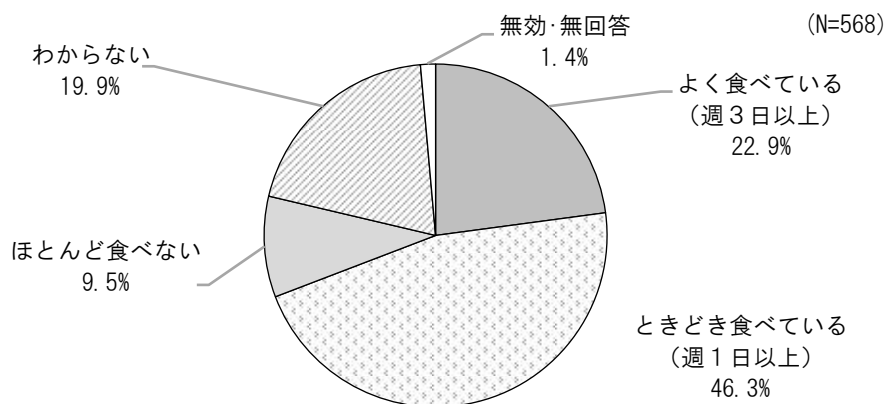
年代別





拡充を望む公共交通施策については、「路線バスの充実」と「長泉町コミュニティバスの充実」がそれぞれ67.2%、「タクシーの利用助成」が31.0%となっています。

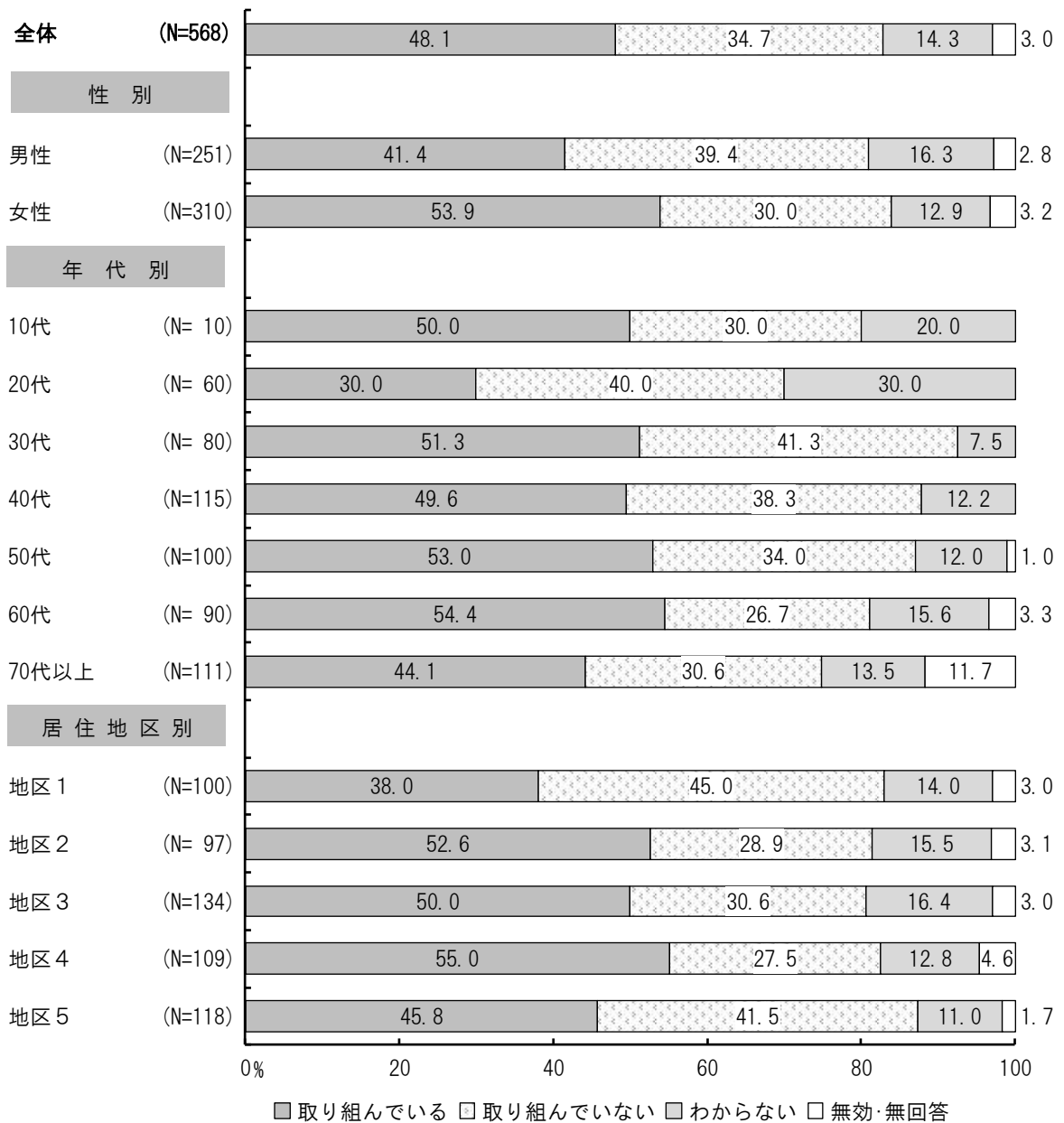
問12 あなたは日頃地元産(町内及び近隣市町で生産、収穫されたもの)の農畜産物を食べていますか。
(該当する番号に1つ○をつけてください)



地元産の農畜産物の消費状況については、「よく食べている (週3日以上)」が 22.9%、「ときどき食べている (週1日以上)」が 46.3%、「ほとんど食べない」が 9.5%、「わからない」が 19.9%となっています。

防災対策の取り組み状況

問13 あなたは家庭で防災対策に取り組んでいますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)



防災対策の取り組み状況については、「取り組んでいる」が48.1%、「取り組んでいない」が34.7%、「わからない」が14.3%となっています。

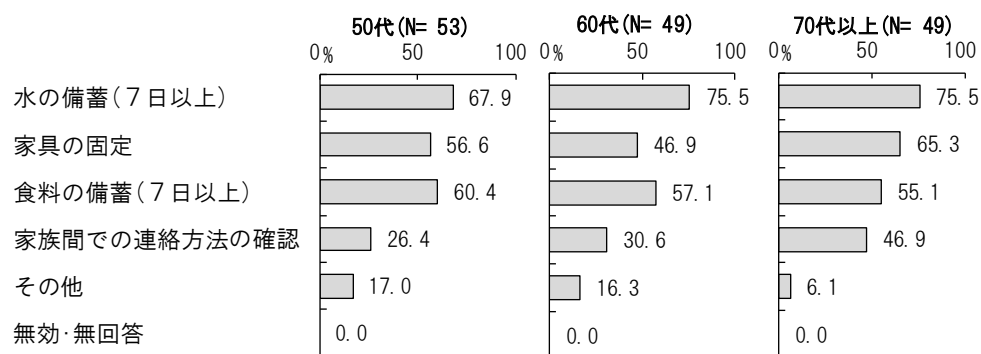
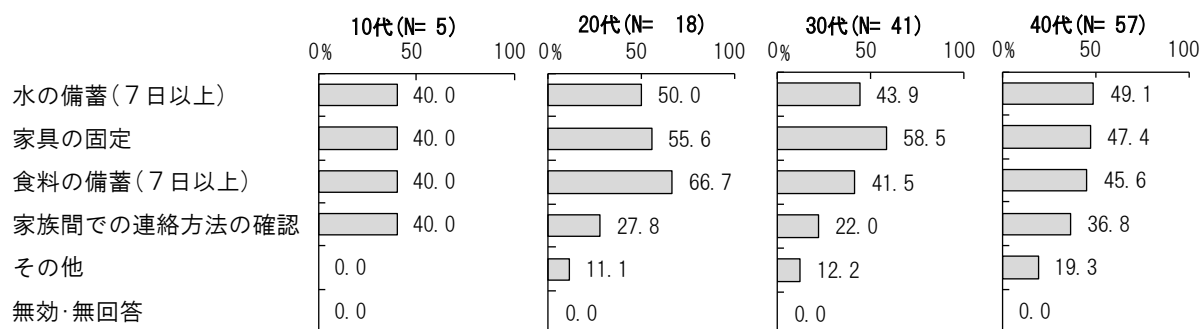
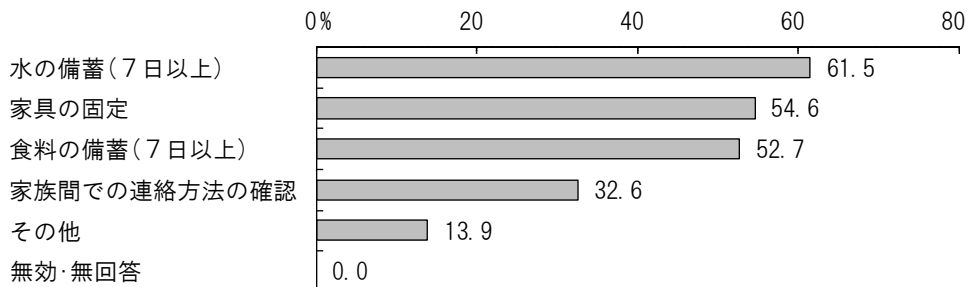
年代別にみると、「取り組んでいる」が20代で30.0%と最も低くなっています。

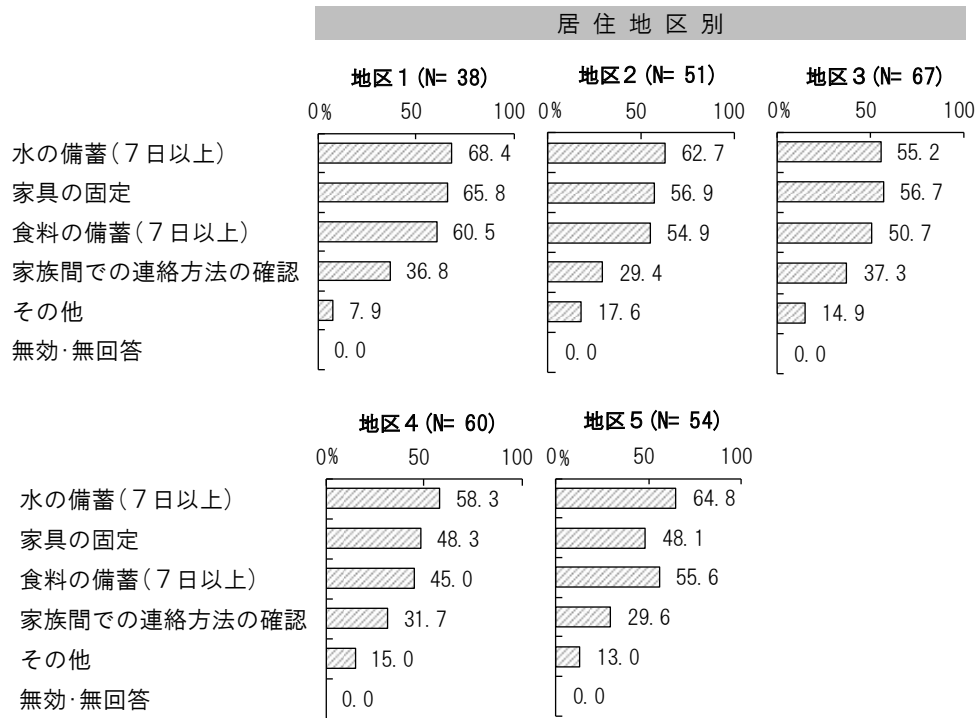
取り組んでいる防災対策

※問13で「取り組んでいる」とお答えの方にお伺いします。

補問13-1 どのような防災対策に取り組んでいますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

(N=273)





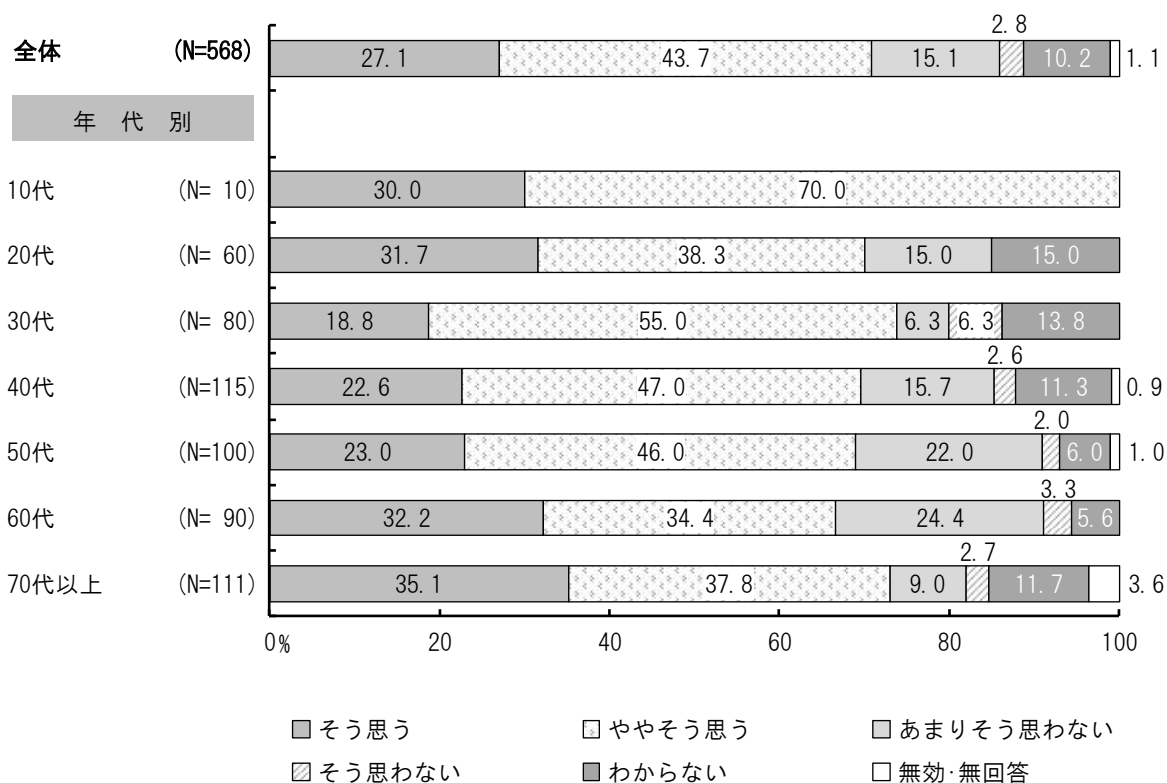
取り組んでいる防災対策については、「水の備蓄（7日以上）」が61.5%で最も多く、次いで「家具の固定」が54.6%、「食料の備蓄（7日以上）」が52.7%などとなっています。

年代別にみると、20代では「食料の備蓄（7日以上）」、30代では「家具の固定」、40代～70代以上では「水の備蓄（7日以上）」がそれぞれ最も多くなっています。

居住地区別にみると、地区3では「家具の固定」、それ以外はいずれも「水の備蓄（7日以上）」が最も多くなっています。

人権尊重の意識が生活の中に定着していると感じるか

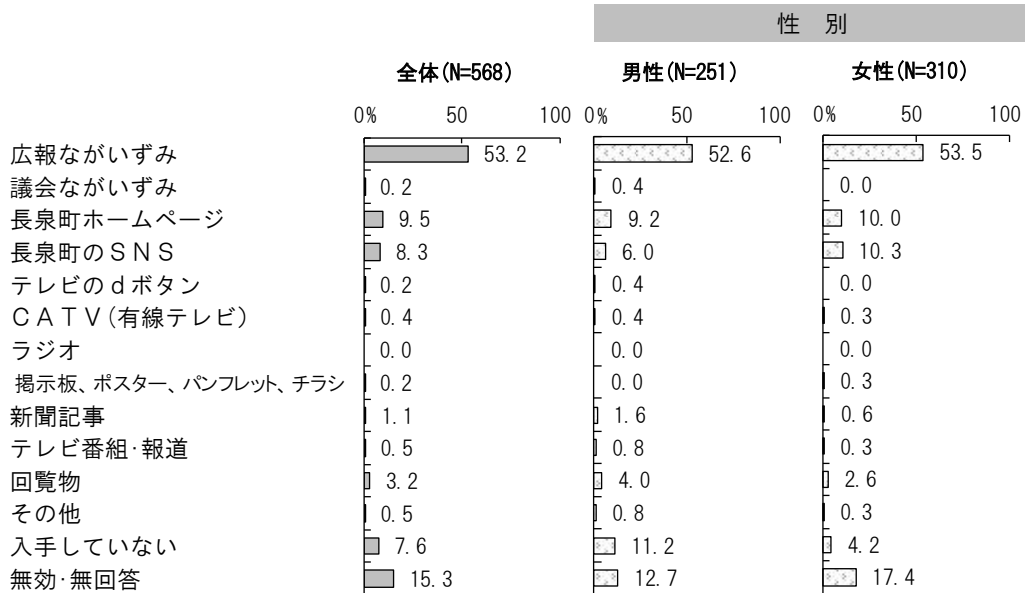
問14 あなたは人権尊重の意識（思いやりの心をもって人と接する、自他の命を大事にするなど）が生活の中に定着していると感じますか。（該当する番号に1つ〇をつけてください）



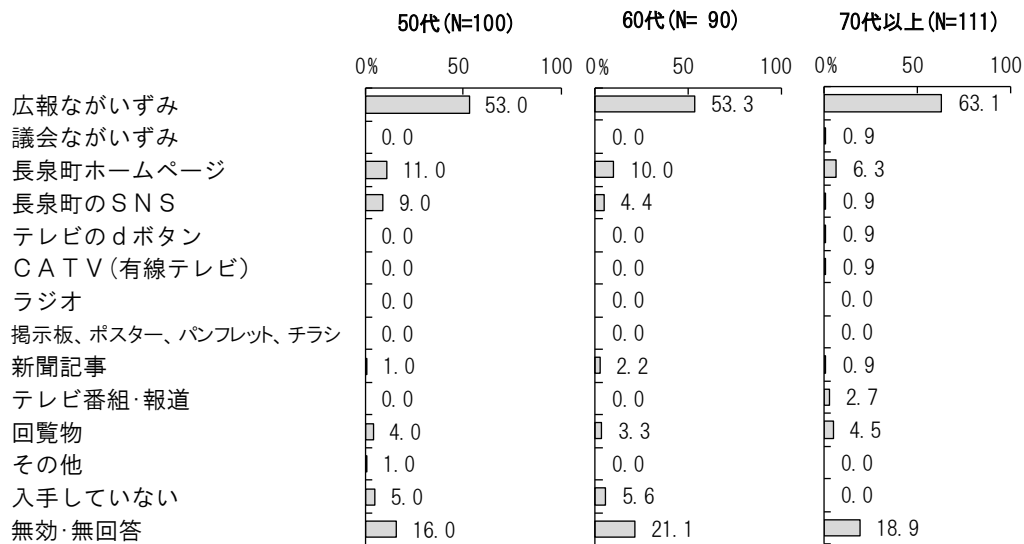
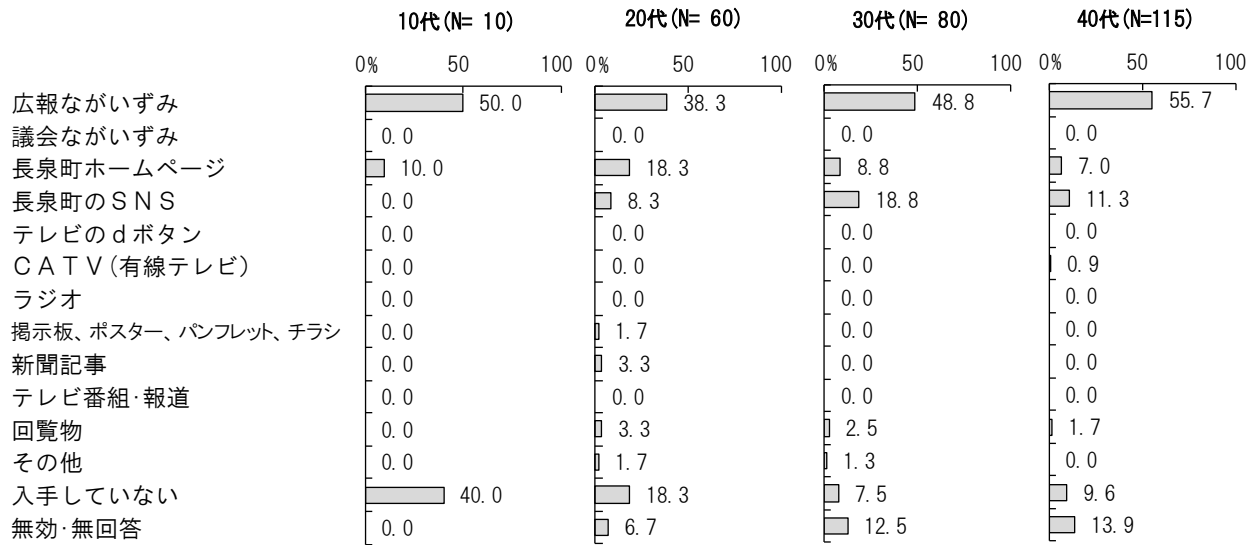
「人権尊重の意識が生活の中に定着していると感じるか」については、「ややそう思う」が 43.7% で最も多く、次いで「そう思う」が 27.1%、「あまりそう思わない」が 15.1% などとなっています。

町の情報を入手するために利用している主な情報媒体

問15 町では、各種情報媒体を利用して情報の提供を行っていますが、日常、あなたが町の情報を入手するために利用されているものはどれですか。(主なものに1つ〇をつけてください)



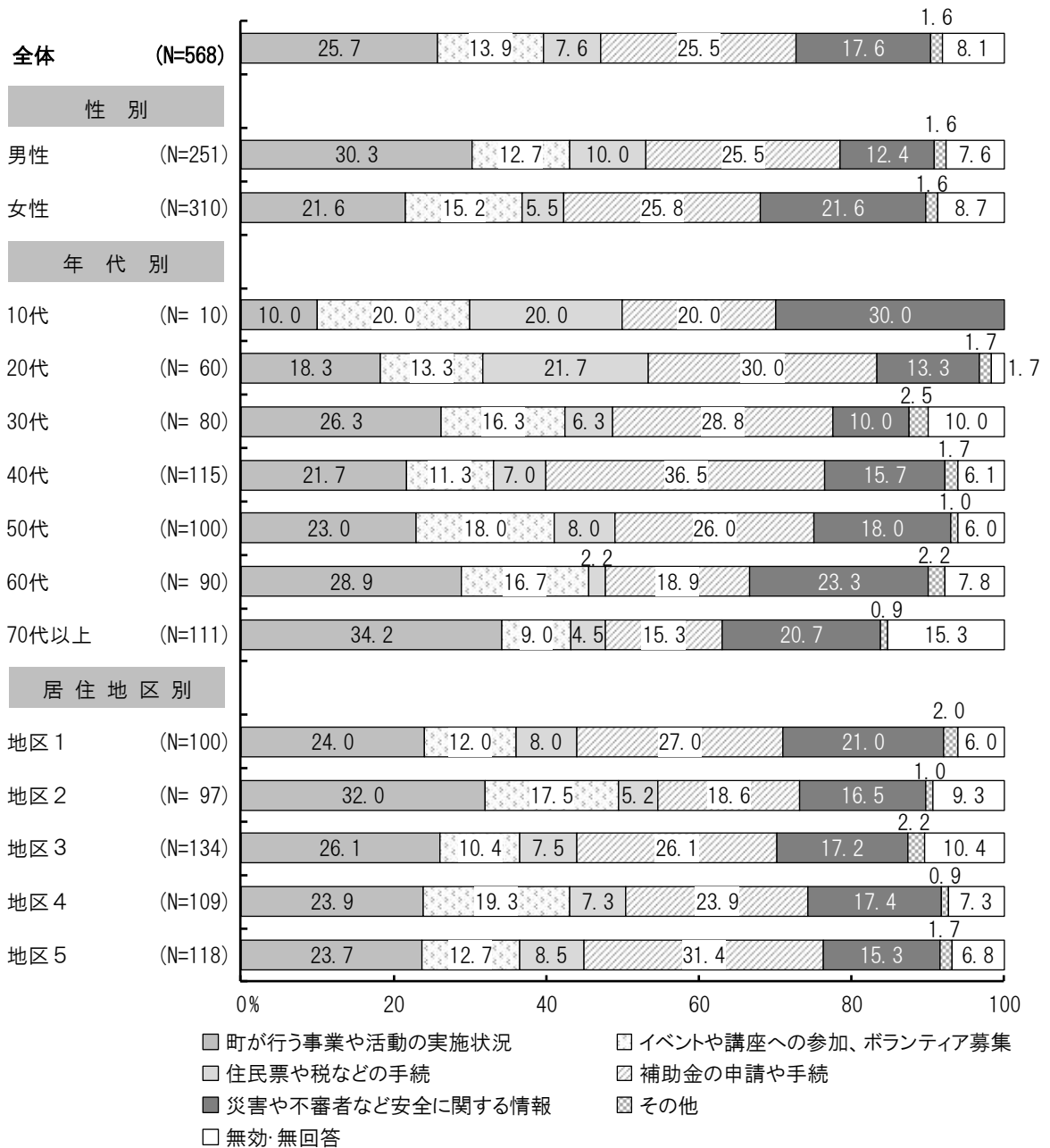
年 代 別



町の情報を入手するための主な手段としては、「広報ながいずみ」が 53.2% ともっと多く、次いで「長泉町ホームページ」が 9.5%、「長泉町の SNS」が 8.3% などとなっています。性別、また年代別でみると、いずれも最も多いのは「広報ながいずみ」となっています。

特に必要とする町の情報

問16 町が提供している情報のうち、あなたが特にほしいものはどれですか。
(主なものに1つ○をつけてください)

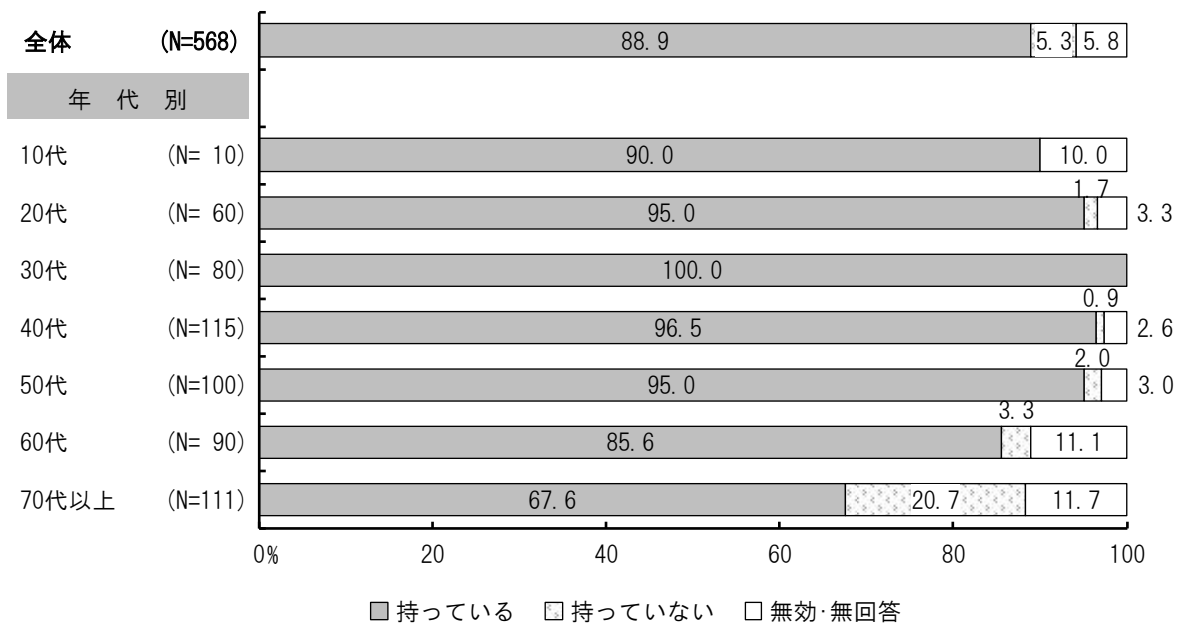


町が提供する情報のうち特に必要とするものについては、「町が行う事業や活動の実施状況」が25.7%で最も多く、次いで「補助金の申請や手続」が25.5%、「災害や不審者など安全に関する情報」が17.6%などとなっています。

年代別にみると、10代では「災害や不審者など安全に関する情報」、20代～50代では「補助金の申請や手続」、60代、70代以上では「町が行う事業や活動の実施状況」が最も多くなっています。

スマートフォンの所持状況

問17 あなたは、スマートフォンを持っていますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)



スマートフォンの所持状況については、「持っている」が88.9%、「持っていない」が5.3%となっています。

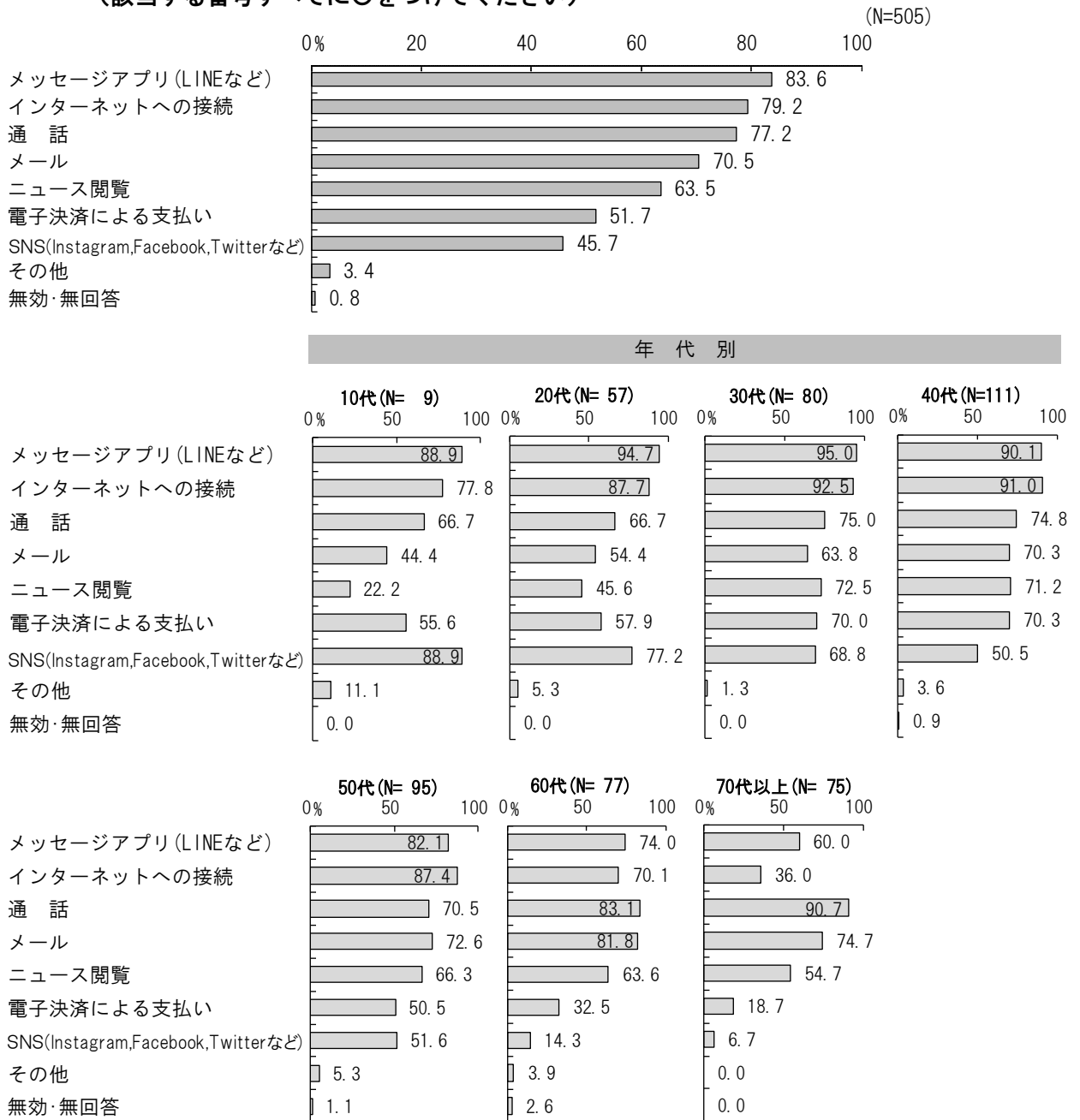
年代別にみると、10代～50代までは「持っている」がいずれも90%を超えています。60代では85.6%、70代以上では67.6%となっています。

スマートフォンで日常使用している機能

※問17で「持っている」とお答えの方にお伺いします。

補問17-1 あなたが、日常スマートフォンで使っている機能は何ですか。

(該当する番号すべてに○をつけてください)



※SNSのうち「X」(旧名称「Twitter」)については、今回調査では旧名称で質問しました。

スマートフォンで日常使用している機能については、「メッセージアプリ (LINE など)」が83.6%で最も多く、次いで「インターネットへの接続」が79.2%、「通話」が77.2%、「メール」が70.5%などとなっています。

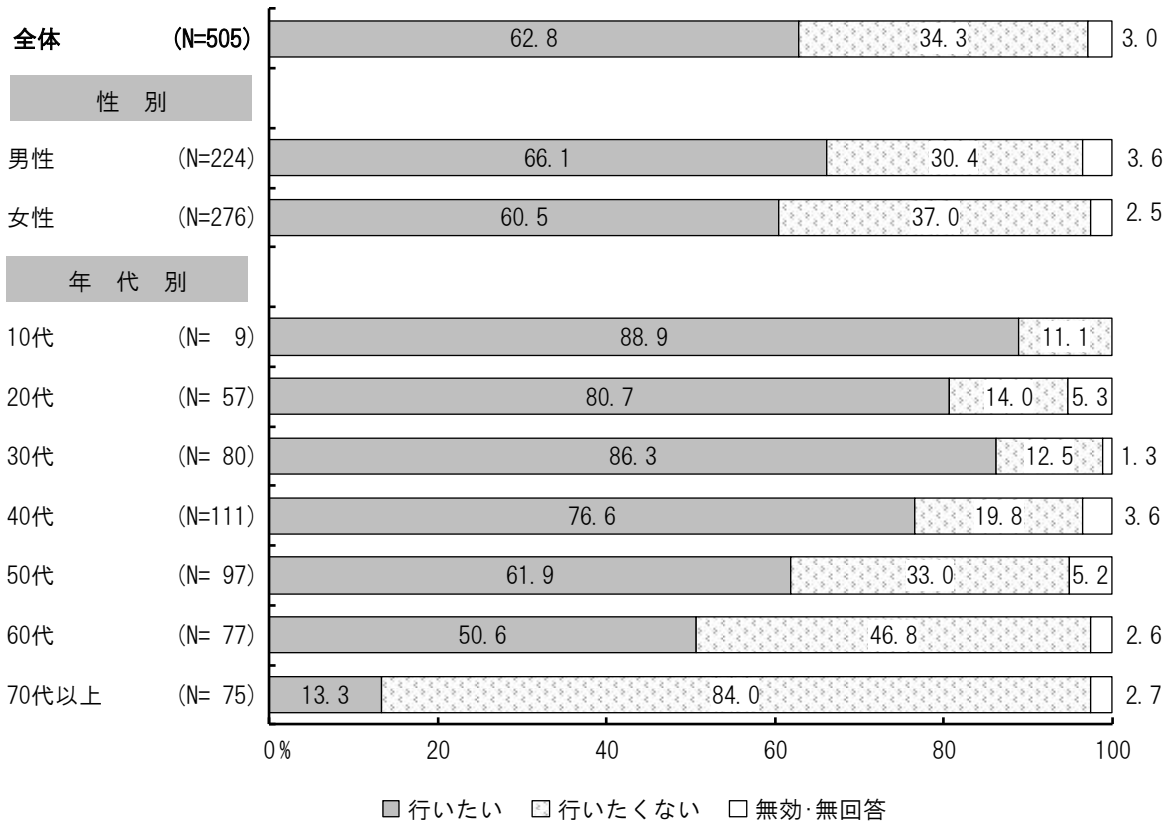
年代別にみると、「電子決済による支払い」と「SNS (Instagram、Facebook、Twitter など)」は10代～50代で50%を超えています。

スマートフォンによる町への申請や手続を希望するか

※問17で「持っている」とお答えの方にお伺いします。

補問17-2 あなたは、町への申請や手続をスマートフォンで行いたいですか。

(該当する番号に1つ〇をつけてください)



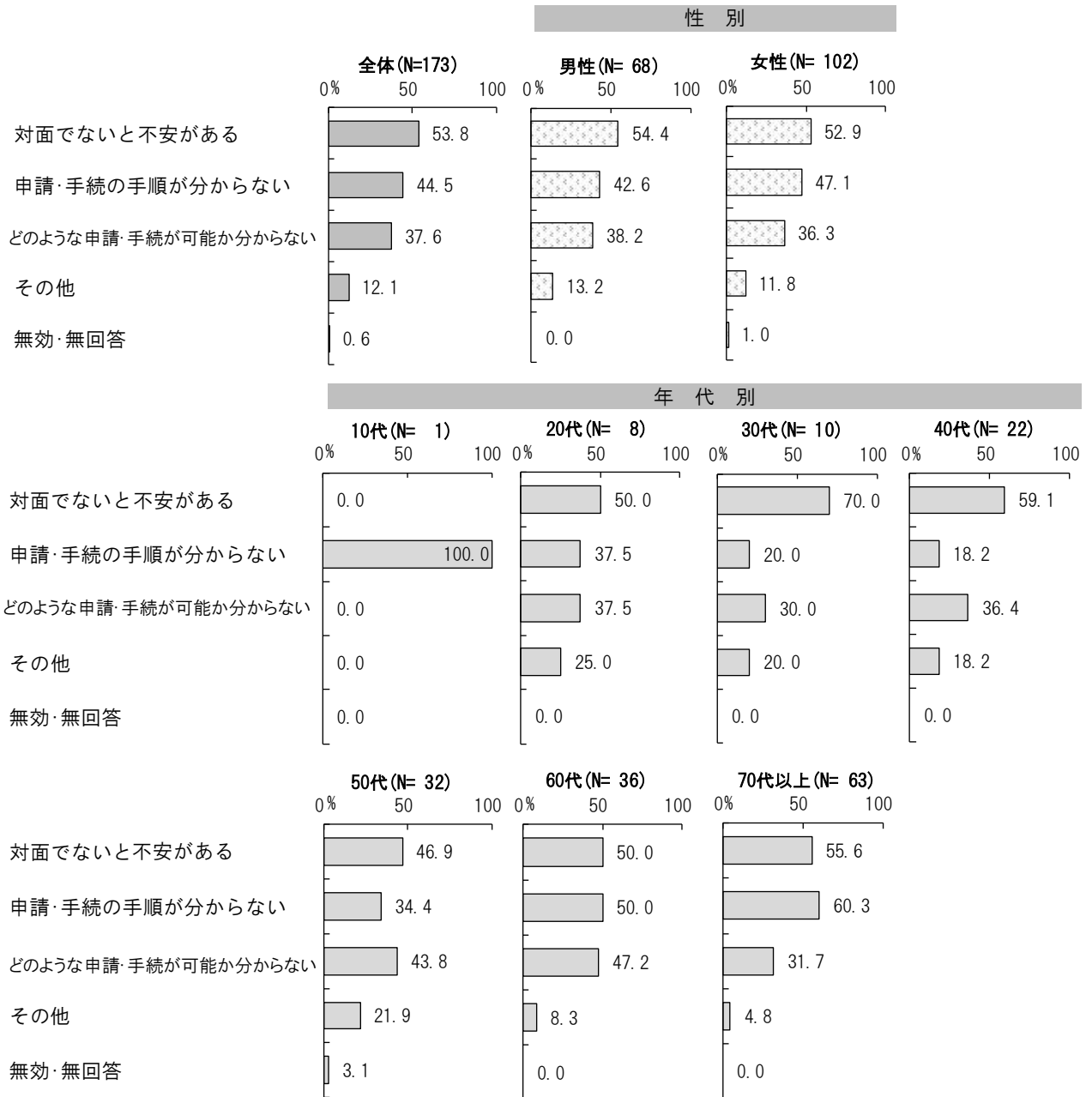
町への申請や手続をスマートフォンで行う意向については、「行いたい」が62.8%、「行いたくない」が34.3%となっています。

年代別にみると、10代～30代では「行いたい」が80%を超えていますが、40代では76.6%、50代では61.9%、60代では50.6%と割合が低下し、70代以上では13.3%となっています。

スマートフォンによる申請や手続を希望しない理由

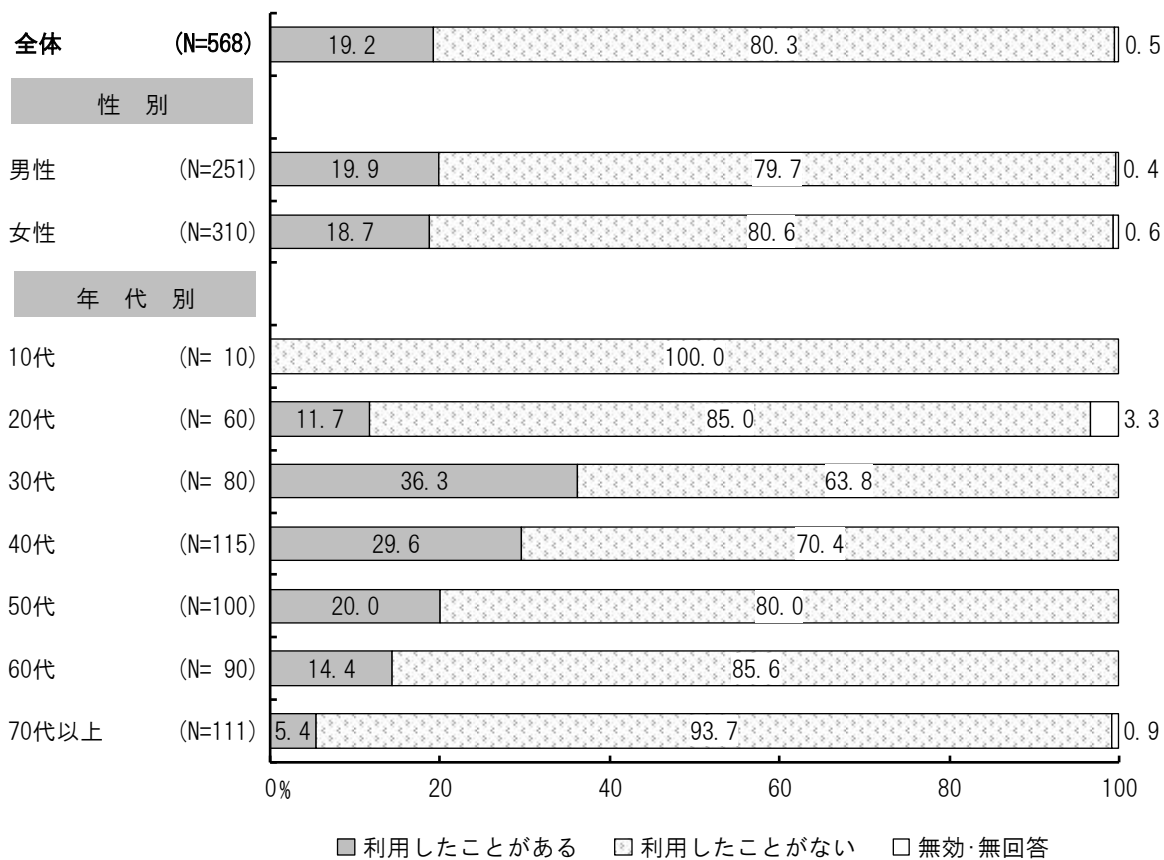
※補問17-2で「行いたくない」とお答えの方にお伺いします。

補問17-2-1 行いたくない理由は何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)



町への申請や手続をスマートフォンで行いたくない理由については、「対面でない不安がある」が53.8%で最も多く、次いで「申請・手続の手順が分からない」が44.5%、「どのような申請・手続が可能か分からない」が37.6%などとなっています。

問18 あなたは、ふるさと納税制度を利用したことがありますか。
 (該当する番号に1つ○をつけてください)



ふるさと納税制度の利用の有無については、「利用したことがある」が19.2%、「利用したことがない」が80.3%となっています。

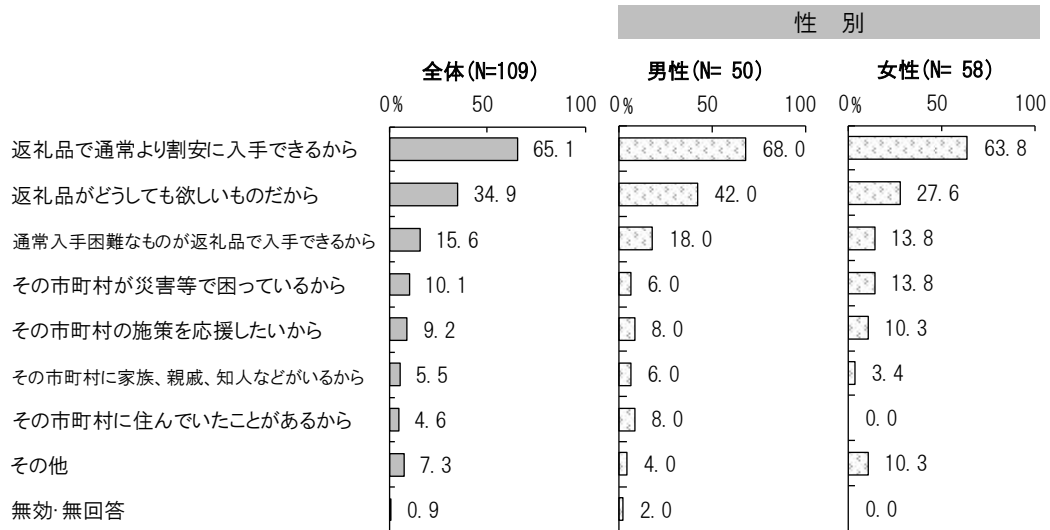
年代別にみると、「利用したことがある」が30代で36.3%、40代で29.6%と他より割合が高くなっています。

ふるさと納税制度を利用した理由

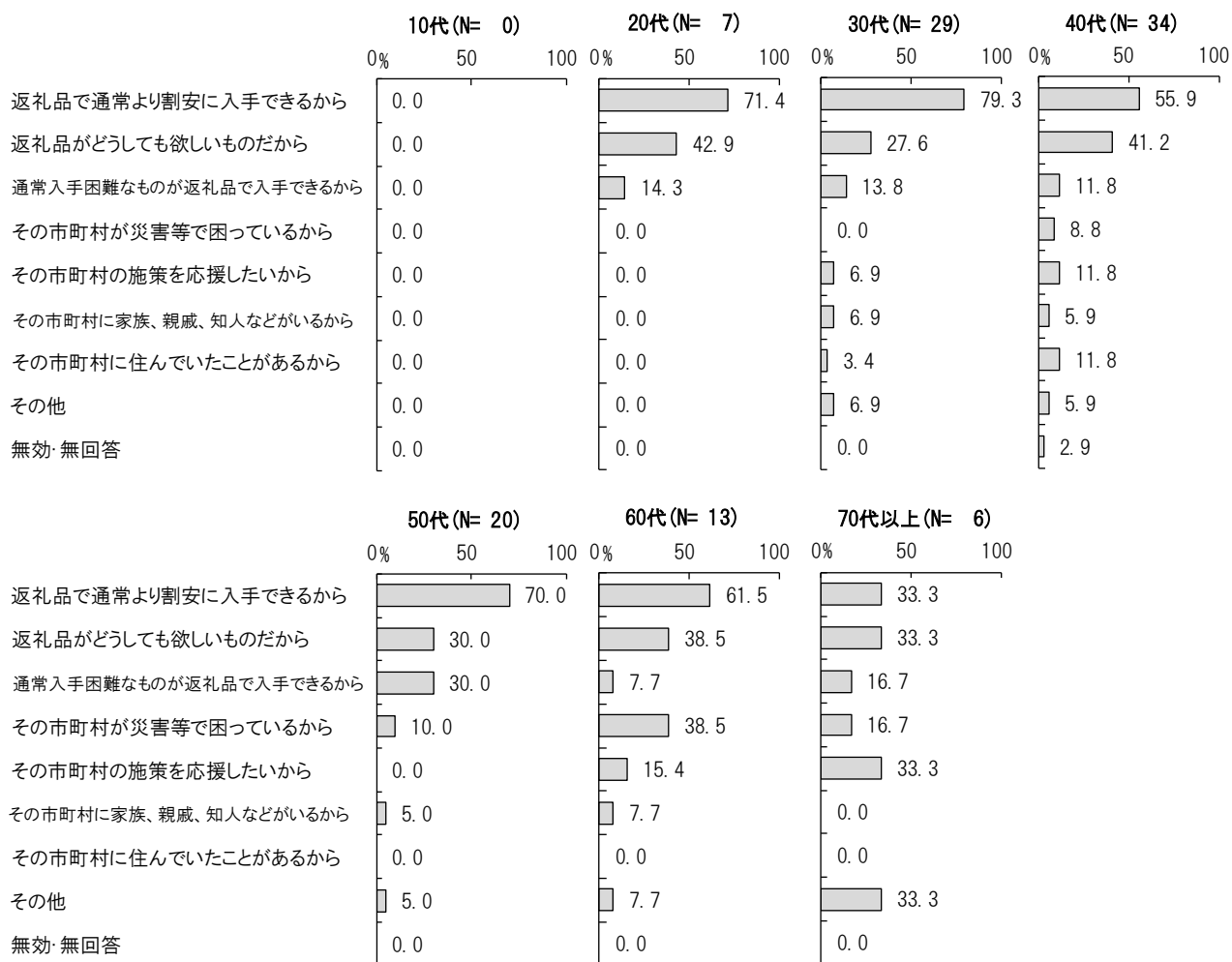
※問18で「利用したことがある」とお答えの方にお伺いします。

補問18-1 あなたが、ふるさと納税制度を利用して、他の市町村に寄附した理由は何ですか。

(該当する番号すべてに○をつけてください)



年代別

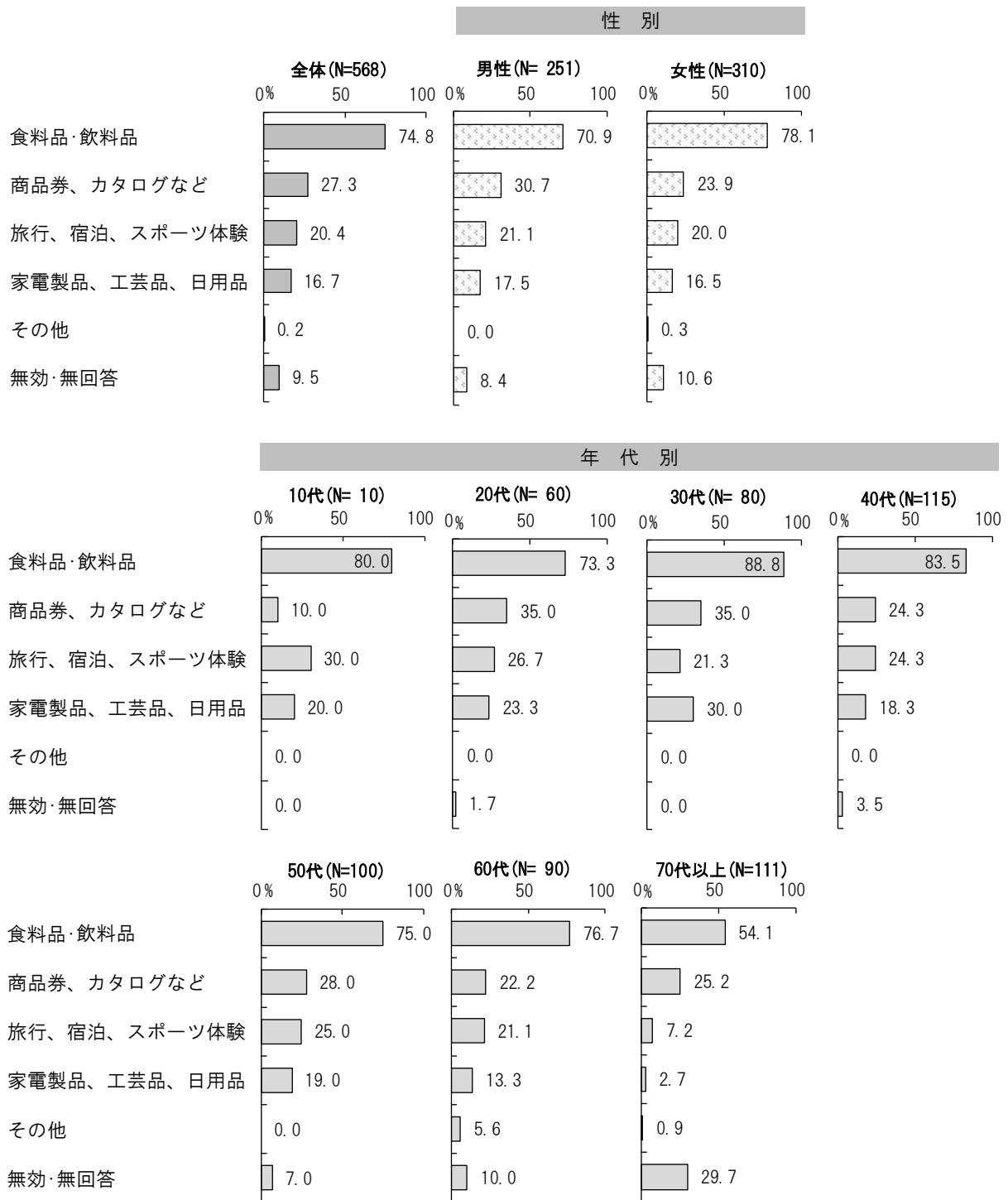


ふるさと納税制度を利用した理由については、「返礼品で通常より割安に入手できるから」が 65.1%で最も多く、次いで「返礼品がどうしても欲しいものだから」が 34.9%、「通常入手困難なものが返礼品で入手できるから」が 15.6%などとなっています。

ふるさと納税で希望する返礼品

問19 あなたが、ふるさと納税で希望する返礼品はどれですか。

(該当する番号すべてに○をつけてください)

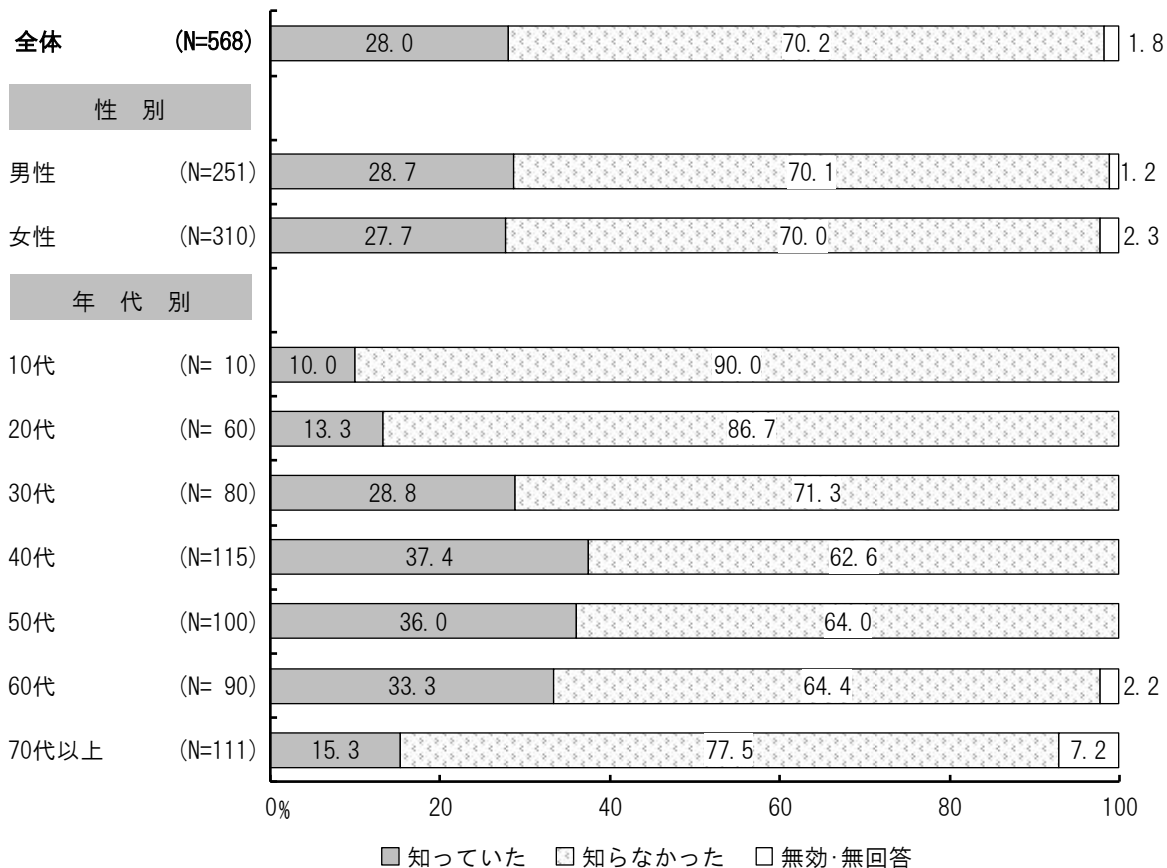


ふるさと納税で希望する返礼品は「食料品・飲料品」が74.8%で最も多く、次いで「商品券・カタログなど」27.3%、「旅行、宿泊、スポーツ体験」20.4%などとなっています。

ふるさと納税の影響による町の税収減を知っているか

問20 ふるさと納税制度を利用して他の市町村に寄附することで、本来町民サービスに活用される長泉町の税収が令和4年度は約1億9,000万円減となっていることをご存知ですか。

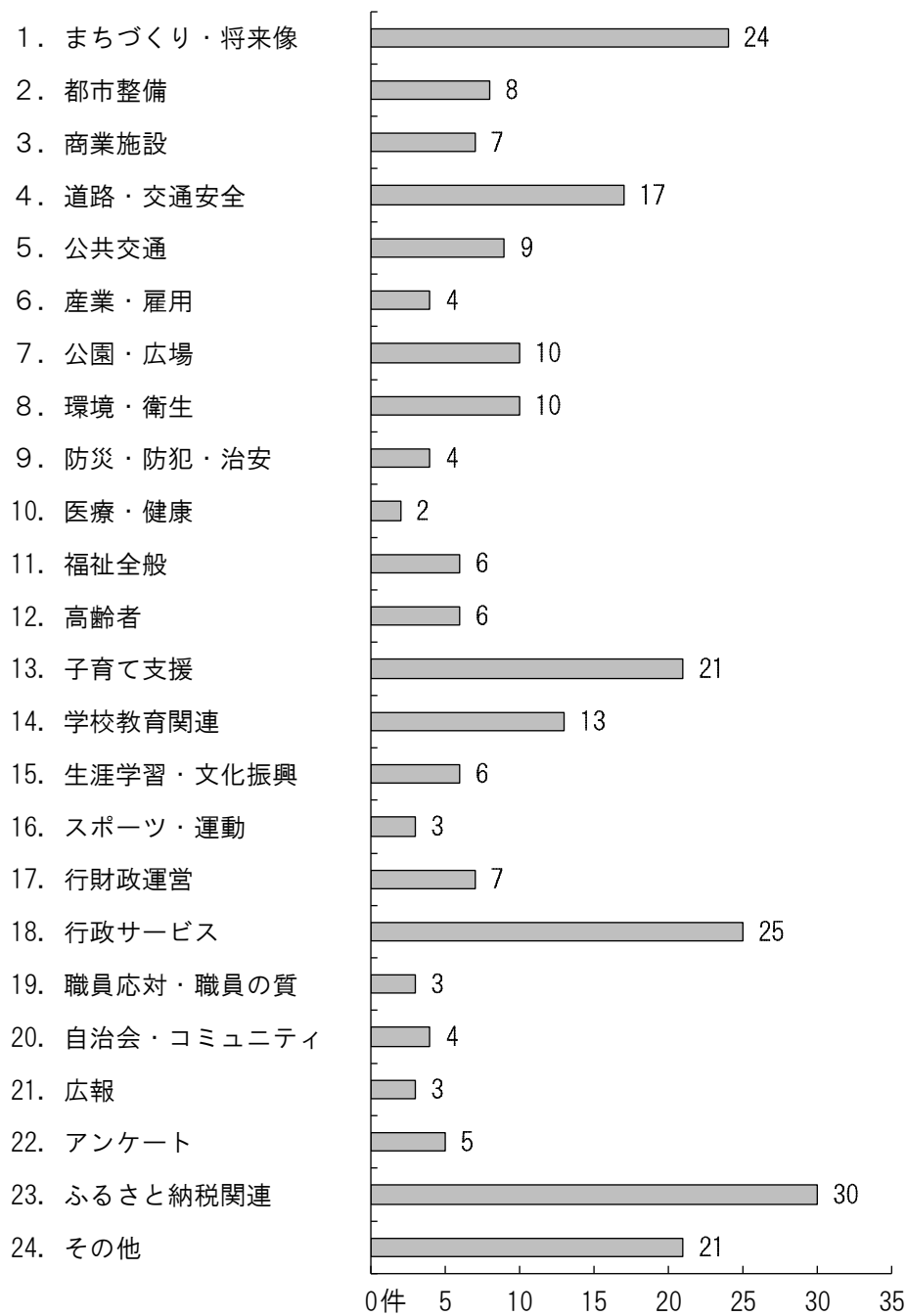
(該当する番号に1つ〇をつけてください)



ふるさと納税制度の影響による長泉町での税収減については、「知っていた」28.0%、「知らなかった」70.2%となっています。

年代別で見ると、40代、50代、60代では「知っていた」が30%を超えています。一方で、10代、20代、70代では20%を下回っています。

3. 自由意見のまとめ



長泉町に対するご意見やご要望を、上記の項目に整理・分類しました。「ふるさと納税関連」が30件で最も多く、次いで「行政サービス」が25件、「まちづくり・将来像」が24件、「子育て支援」が21件などとなっています。

4. 調査結果のまとめと分析

I あなたの定住意識について

現在の地区に住んでいる理由は、「通勤・通学の便がよいため」、「買い物等の日常生活（通勤・通学を除く）の便がよいため」、「生まれた時から住んでいるため」、「手頃な家・土地があったため」の順に多くなっています。前回と比較して若干の順位変動はあるものの、過去の調査と概ね同様の結果であり、町が進めてきたちよどいいまちづくりの方向性が反映されているといえます。

現在の地区における継続居住意向については、『住みたい』（「ずっと住みたいと考えている」＋「できれば住みたいと考えている」の合計）の割合は79.2%で、前回の80.1%からわずかに低下しています。年代別でみると、30代以上では概ね80%かそれ以上となっていますが、10代と20代では50%台にとどまり、かつ、「わからない」とする回答も目立ちます。若年層が今後の定住（Uターンを含む）を希望するような施策展開が求められます。

II あなたが持っている「長泉町の印象」について

多くの項目で、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」の合計）が『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」の合計）を上回っています。ただし、「8. 長泉町での今の生活に満足している」における『思う』の割合は前回調査より約5ポイント低下しており、満足度の向上を図るための検討が必要です。また、「7. 町の魅力や良いところを積極的に発信している」については、『思う』と『思わない』の差が約2ポイントとなっており、PR戦略や手法についての再検討が必要です。

III 今後のより良いまちづくりを進めていくための「第5次総合計画の指標に関する項目」などについて

10分以上連続した健康づくりをする週あたりの日数については、「ない」とした割合が36.3%で前回調査よりやや低下しましたが、20代から40代では40%を超える状態が続いています。働き盛りの年代の健康づくりを支援する対策が必要です。

生活の中での悩みや不安の有無については、「ストレスとなる悩みや不安を感じている」と「大きなストレスとなる悩みや不安を感じている」の合計が46.3%と前回を上回り、「特に悩みや不安を感じていない」の41.4%を上回りました。また、日ごろ感じている悩みや苦勞については、「家族の問題」、「経済的な問題」、「病気など健康の問題」、「勤務関係の問題」の4つが多くなっています。悩みや不安を抱える住民が増加していることから、個別課題についての対応が必要です。

ボランティア活動や助け合い活動の参加状況については、「活動したことがない」が71.7%と多数を占めています。地域、地区における共生の実現を図るためにも、これらの活動への参画を促進する必要があります。

「子育ての環境や支援が充実しているか」については、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合が82.2%と前回より約3ポイント低下、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合計した割合は16.1%で同約2ポイント上昇しています。子育て世帯における子育て環境や支援に対する満足度は若干低下しており、原因の把握と対策が求められます。

「生涯学習の機会や活動支援が充実しているか」については、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合が50.0%となっています。一方で、「わからない」の割合も28.9%あり、生涯学習の機会や活動支援に加え、生涯学習という概念自体や個別内容への理解促進も併せて図ることが重要です。

4. 調査結果のまとめと分析

長泉町内の道路が充実しているかについては、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合が66.1%と前回より約4ポイント上昇しています。一方、長泉町内の公共交通の利用状況については、「利用していない」が82.4%となっています。また、「利用している」、「ときどき利用している」とした回答者においても、公共交通の充実度については「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合計した割合が59.8%となっており、公共交通の充実と利用促進を並行して進める必要があります。

地元産の農畜産物の消費状況については、「よく食べている（週3日以上）」と「ときどき食べている（週1日以上）」を合計した割合は69.2%となっており、「ほとんど食べない」や「わからない」を大きく上回っています。

防災対策の取り組み状況については、「取り組んでいる」が48.1%で「取り組んでいない」の34.7%を上回っていますが、割合は前回より約6ポイント低下しました。防災対策の必要性、また、個々の住民・世帯において求められる対策の内容やレベルについて周知を図る必要があります。

「人権尊重の意識が生活の中に定着していると感じるか」については、「そう思う」と「ややそう思う」を合計した割合が70.8%となっていますが、「あまりそう思わない」と「思わない」を合計した割合も17.9%あります。人権尊重の意識と取組についての啓発が引き続き必要です。

町の情報を入手するための利用媒体（今回は主要な1つだけ回答）は、「広報ながいずみ」が53.2%と他を大きく上回っていますが、「長泉町ホームページ」や「長泉町のSNS」も10代～30代の若年層を主として一定の割合で存在します。前回までの調査（利用する媒体すべてを回答）の結果を併せ考慮しても、「広報ながいずみ」の重要度は変わりませんが、ホームページやSNSの充実、「広報ながいずみ」との役割分担についても検討する必要があります。また、特にほしい情報（主要な1つだけ）については、20代～50代では「補助金の申請や手続」、60代と70代以上では「町が行う事業や活動の実施状況」と傾向がやや異なるため、年代のニーズに適した情報媒体の選択についても検討する必要があります。

スマートフォンの所持状況については、「持っている」が全体で88.9%、10代～50代では90%を超えています。また、スマートフォンで日常使用している機能は、全体では「メッセージアプリ（LINEなど）」、「インターネットへの接続」、「通話」、「メール」がいずれも70%を超えています。10代～50代に限ると「電子決済による支払い」と「SNS（Instagram、Facebook、Twitterなど）」も50%を超えています。町への申請や手続をスマートフォンで行う意向については、「行いたい」が62.8%で、10代～30代では80%を超えています。特にニーズの高い若い年代を想定して、スマートフォンなどを経由した電子的な申請や手続の充実を図る必要があります。一方、「行いたくない」理由については、「対面でないと不安がある」、「申請・手続の手順が分からない」、「どのような申請・手続が可能か分からない」の順に多くなっており、これらの不安を低減するための情報発信等も重要になります。

ふるさと納税制度の利用の有無については、「利用したことがある」が19.2%で、年代別では30代と40代で割合が他の年代より高くなっています。また、利用した理由は「返礼品で通常より割安に入手できるから」、「返礼品がどうしても欲しいものだから」などの割合が高く、「どの市町村に対して納税するか」よりも「返礼品の内容や割安感」が重視されている傾向がうかがえます。ふるさと納税で希望する返礼品については、「食料品・飲料品」が74.8%で最も多くなっています。

ふるさと納税制度の影響による町の税収減については、「知っていた」が28.0%、「知らなかった」が70.2%となっています。ただし、自由意見におけるふるさと納税関連の意見や要望は他の分野より多く、税収減の現状を踏まえたうえで、今後何らかの対策を求めている町民は少なくないものと考えられます。

5. 調査票

長泉町のまちづくりについて、あなたのご意見をおきかせください

長泉町住民意識調査

長泉町住民意識調査へのご協力をお願い

日頃から町政の推進にご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、町では、日常生活における町民の皆様の意識と行政に対する要望や評価を把握し、今後の町政運営に反映させていくため、毎年、住民意識調査を実施しています。

今回の調査の実施にあたりましては、**18歳以上の皆様の中から無作為に1,000人を選ばせていただきました。**

ご回答いただいた内容は、統計的に処理を行いますので、あなたの意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されることはありません。

つきましては、趣旨をご理解の上、下記の期日までに指定の方法で回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和5年8月 長泉町長

池田 修

【回答の方法】

以下の①、②いずれかの方法で回答してください。質問内容はどちらも同じです。

①調査票に記入：

9月15日(金)までに、同封の返信用封筒に入れ、封をし、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。(期限内であれば、切手は不要です。)

②インターネット経由：

9月15日(金)までに、右側のQRコードから専用ウェブサイトアクセスし、回答を入力してください。

回答の際には、左下の4ケタの番号の入力をお願いします。

(※この番号により、回答された方が特定されることはありません)



- ◆アンケートの回答は、**あて名の方**がご記入ください。あて名の方の記入が難しい場合には、代理の方がご記入ください。
- ◆各質問については、当てはまる回答項目の番号を○で囲んでください。当てはまる回答項目がない場合は、「その他」の欄にご意見、ご回答をお願いいたします。
- ◆質問によっては、回答できる○の数が決められていますので、ご注意ください。
- ◆前の質問の回答によって、次に答える質問が変わる箇所があります。矢印や誘導文に従ってご回答ください。
- ◆アンケートについてご不明な点がございましたら、担当までお問合せください。

長泉町行政課 地域協働チーム
〒411-8668 長泉町中土狩828番地
電話：055-989-5500
E-mail：chiiki@town.nagaizumi.lg.jp
担当：中村・山川

あなたのことについてお伺いします。**ア あなたの性別を教えてください。（該当する番号に1つ〇をつけてください）**

1. 男性
2. 女性
3. 回答したくない

イ あなたの年齢を教えてください。【8月1日現在】（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | | |
|----------|--------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代以上 | | |

ウ あなたの世帯状況を教えてください。（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 親と子（2世代）※敷地内同居を含む | 4. 祖父母と親と子（3世代）※敷地内同居を含む |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

エ お住まいの地域を教えてください。（お住まいの地区に1つ〇をつけてください）

①元長窪 ②上長窪 ③屋代住宅 ④下長窪 ⑤池田 ⑥尾尻住宅 ⑦谷津
⑧南一色 ⑨東べ南一色 ⑩納米里 ⑪駿河平 ⑫八分平
⑬上土狩 ⑭惣ヶ原 ⑮エンゼル ⑯シャリエ中土狩 ⑰中土狩 ⑱東
⑲荻素 ⑳新屋町上 ㉑新屋町中 ㉒新屋町下 ㉓鮎壺 ㉔駅上 ㉕駅中 ㉖駅下 ㉗薄原上
㉘薄原下 ㉙西 ㉚原 ㉛シャルマン ㉜シャリエ南 ㉝シャリエ東
㉞三軒家 ㉟エンゼル西 ㊱グランツ ㊲杉原 ㊳原分 ㊴高田 ㊵竹原 ㊶シャルマン竹原 ㊷本宿

オ あなたの職業を教えてください。（複数該当する場合は、主な番号に1つ〇をつけてください）

1. 会社員・公務員・団体職員
2. 自営業・フリーランス（農林業、開業医など）
3. パート・アルバイト・フリーター・派遣社員
4. 専業主婦（主夫）
5. 学生
6. 無職
7. その他（具体的に： _____）

※現在働いている方にお伺いします。**カ 現在の勤務地を教えてください。（該当する番号に1つ〇をつけてください）**

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 長泉町 | 2. 静岡県東部 |
| 3. 静岡県中部・西部 | 4. 東京都・神奈川県 |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

キ あなたのお住まいの形態を教えてください。（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 持ち家（戸建て） | 2. 持ち家（マンション） |
| 3. 賃貸住宅（アパート・マンション・借家） | 4. 公営住宅、社宅、寮 |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

ク 長泉町にお住まいの年数を教えてください。（該当する番号に1つ○をつけてください）
<通算年数をお答えください。一時的に町外に住んだ時期は除きます。>

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 |
| 3. 10～20年未満 | 4. 20～30年未満 |
| 5. 30年以上 | |

I あなたの定住意識についてお伺いします

問1 現在の地区にお住まいの理由は何ですか。（該当する番号に3つ以内で○をつけてください）

1. 通勤・通学の便がよいため
2. 買い物等の日常生活（通勤・通学を除く）の便がよいため
3. 手頃な家、土地があったため
4. 自然環境がよいため
5. 雰囲気がよいため
6. 子育てがしやすく子どもの教育環境がよいため
7. 結婚相手の家があるため
8. 親がいる（親の出身地）ため
9. 老後も住みやすそうのため
10. 生まれた時から住んでいるため
11. 防災・治安の面で安心であるため
12. その他（具体的に： _____）
13. 特に理由はない

問2 あなたは現在の地区に、今後もずっと住みたいとお考えですか。

（該当する番号に1つ○をつけてください）

1. ずっと住みたいと考えている
2. できれば住みたいと考えている
3. 町内の他地区に移り住みたいと考えている
4. 町外に移り住みたいと考えている
5. わからない

※問2で4とお答えの方にお伺いします。

→ 補問2-1 その理由は何ですか。ご自由にお書きください。

回答例（「故郷に戻りたいため」「手頃な家や土地が無いため」など）

Ⅱ あなたが持っている「長泉町の印象」についてお伺いします

問3 長泉町について（以下の1～8の項目）お答えください。

（それぞれの質問項目について、該当する番号に1つ〇をつけてください）

質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1. イメージの良い町である	1	2	3	4
2. 愛着を持っている	1	2	3	4
3. 住んでいることに誇りを持っている	1	2	3	4
4. 居住について、町外の友人や知人に対して勧めたい	1	2	3	4
5. 来訪について、町外の友人や知人に対して勧めたい	1	2	3	4
6. 町外の友人や知人などから羨ましいと思われる	1	2	3	4
7. 町の魅力や良いところを積極的に発信している	1	2	3	4
8. 長泉町での今の生活に満足している	1	2	3	4

Ⅲ 今後のより良いまちづくりを進めていくための「第5次総合計画の指標に関する項目」などについてお伺いします

問4 あなたは平均的な1週間で10分以上連続した健康づくり(ウォーキングや体操など)をすることは何日ありますか。（該当する番号に1つ〇をつけてください）

1. 毎日
2. 週5・6日
3. 週3・4日
4. 週1・2日
5. ない

問5 あなたは平均的な1週間で10分以上続けて歩くことは何日ありますか。

（該当する番号に1つ〇をつけてください）

1. 毎日
2. 週5・6日
3. 週3・4日
4. 週1・2日
5. ない

※問5で1～4とお答えの方にお伺いします。

→ 補問5-1 1日の平均的な歩行時間をお答えください。

1日平均 時間 分

問6 あなたは普段生活する中で、悩みや不安を感じていますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)

1. 特に悩みや不安を感じていない
2. ストレスとなる悩みや不安を感じている
3. 大きなストレスとなる悩みや不安を感じている
4. わからない

※問6で2、3とお答えの方にお伺いします。

→ 補問6-1 あなたが日ごろ、悩みや苦勞、ストレス、不満、不安を感じることは何ですか。

(該当する番号すべてに○をつけてください)

1. 家族の問題
2. 病気など健康の問題
3. 経済的な問題
4. 勤務関係の問題
5. 恋愛関係の問題
6. 学校の問題
7. その他(具体的に:)

問7 あなたはボランティア活動や助け合い活動に参加していますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)

1. 現在活動している
2. 以前活動したことがある
3. 活動したことがない

※問7で1、2とお答えの方にお伺いします。

→ 補問7-1 あなたが現在取り組んでいるボランティア活動や助け合い活動の内容について教えてください。(該当する番号すべてに○をつけてください)

1. 寄付(募金、フードバンクなど)
2. 環境保全活動
3. 高齢者・障がい者支援
4. 子育て・教育支援
5. まちづくり活動
6. 防災・災害支援
7. その他(具体的に:)

問8 あなたは18歳未満のお子さんがいますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)

1. いる
2. いない

※問8で1とお答えの方にお伺いします。

→ 補問8-1 あなたは長泉町の子育ての環境や支援が充実していると思いますか。

(該当する番号に1つ○をつけてください)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問9 あなたは生涯学習の機会や活動支援について充実していると思いますか。

※生涯学習…生涯にわたって行う学習活動（語学、スポーツ、芸術、趣味など）

（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

問10 あなたは日常の生活で使っている長泉町内の道路が充実していると思いますか。

（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

問11 あなたは日頃長泉町内の公共交通（バス、タクシーなど）を利用していますか。

（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | |
|---------------|
| 1. 利用している |
| 2. ときどき利用している |
| 3. 利用していない |

※問11で1、2とお答えの方にお伺いします。

→ 補問11-1 長泉町内の公共交通は充実していると思いますか。

（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

※補問11-1で3、4とお答えの方にお伺いします。

→ 補問11-1-1 拡充を望む公共交通施策はどれですか。（該当する番号すべてに〇をつけてください）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 路線バスの充実 | 2. 長泉町コミュニティバスの充実 |
| 3. タクシーの利用助成 | 4. その他(具体的に：) |

問12 あなたは日頃地元産(町内及び近隣市町で生産、収穫されたもの)の農畜産物を食べていますか。

（該当する番号に1つ〇をつけてください）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. よく食べている(週3日以上) | 2. ときどき食べている(週1日以上) |
| 3. ほとんど食べない | 4. わからない |

※問12で3とお答えの方にお伺いします。

→ 補問12-1 ほとんど食べない理由は何ですか。ご自由にお書きください。

問13 あなたは家庭で防災対策に取り組んでいますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)

- 1. 取り組んでいる
- 2. 取り組んでいない
- 3. わからない

※問13で1とお答えの方にお伺いします。

→ 補問13-1 どのような防災対策に取り組んでいますか。
(該当する番号すべてに○をつけてください)

- 1. 家具の固定
- 2. 家族間での連絡方法の確認
- 3. 水の備蓄(7日以上)
- 4. 食料の備蓄(7日以上)
- 5. その他 ()

問14 あなたは人権尊重の意識(思いやりの心をもって人と接する、自他の命を大事にするなど)が生活の中に定着していると感じていますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)

- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. わからない

問15 町では、各種情報媒体を利用して情報の提供を行っていますが、日常、あなたが町の情報を入手するために利用されているものはどれですか。
(主なものに1つ○をつけてください)

- 1. 広報ながいずみ
- 2. 議会ながいずみ
- 3. 長泉町ホームページ
- 4. 長泉町のSNS
- 5. テレビのdボタン
- 6. CATV(有線テレビ)
- 7. ラジオ
- 8. 掲示板、ポスター、パンフレット、チラシ
- 9. 新聞記事
- 10. テレビ番組・報道
- 11. 回覧物
- 12. その他(具体的に:)
- 13. 入手していない

問16 町が提供している情報のうち、あなたが特にほしいものはどれですか。
(主なものに1つ○をつけてください)

- 1. 町が行う事業や活動の実施状況
- 2. イベントや講座への参加、ボランティア募集
- 3. 住民票や税などの手続
- 4. 補助金の申請や手続
- 5. 災害や不審者など安全に関する情報
- 6. その他(具体的に:)

問17 あなたは、スマートフォンを持っていますか。(該当する番号に1つ○をつけてください)

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

※問17で1とお答えの方にお伺いします。

→ 補問17-1 あなたが、日常スマートフォンで使っている機能は何ですか。
(該当する番号すべてに○をつけてください)

- 1. メール
- 2. インターネットへの接続
- 3. 通話
- 4. メッセージアプリ(LINEなど)
- 5. ニュース閲覧
- 6. SNS(Instagram、Facebook、Twitterなど)
- 7. 電子決済による支払い
- 8. その他(具体的に:)

↓
次のページにも続きます

※問17で1とお答えの方にお伺いします。

→ 補問17-2 あなたは、町への申請や手続きをスマートフォンで行いたいですか。（該当する番号に1つ○をつけてください）

1. 行いたい
2. 行いたくない

※補問17-2で2とお答えの方にお伺いします。

→ 補問17-2-1 行いたくない理由は何ですか。（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. どのような申請・手続きが可能か分からない
2. 申請・手続きの手順が分からない
3. 対面でないと不安がある
4. その他（具体的に： _____）

問18 あなたは、ふるさと納税制度を利用したことがありますか（該当する番号に1つ○をつけてください）

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない

※問18で1とお答えの方にお伺いします。

補問18-1 あなたが、ふるさと納税制度を利用して、他の市町村に寄附した理由は何ですか。（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. その市町村に住んでいたことがあるから
2. その市町村に家族、親戚、知人などがいるから
3. その市町村の施策を支援したいから
4. その市町村が災害等で困っているから
5. 返礼品がどうしても欲しいものだから
6. 通常入手困難なものが返礼品で入手できるから
7. 返礼品で通常より割安に入手できるから
8. その他（具体的に： _____）

問19 あなたが、ふるさと納税で希望する返礼品はどれですか。

（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 食料品・飲料品
2. 家電製品、工芸品、日用品
3. 旅行、宿泊、スポーツ体験
4. 商品券、カタログなど
5. その他（具体的に： _____）

問20 ふるさと納税制度を利用して他の市町村に寄附することで、本来町民サービスに活用される長泉町の税収が令和4年度は約1億9,000万円減となっていることをご存知ですか。

（該当する番号に1つ○をつけてください）

1. 知っていた
2. 知らなかった

<自由意見欄>

最後に町に対するご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力いただきましてありがとうございました。

誠に恐縮ですが、9月15日（金）までに、返信用封筒に入れて返送くださるようお願いいたします。

令和5年度 長泉町住民意識調査報告書

長泉町 行政課 地域協働チーム

〒411-8668 長泉町中土狩828番地

TEL : 055-989-5500

FAX : 055-986-5905

E-mail : chiiki@town.nagaizumi.lg.jp